



- はじめに 
- 準備 
- ナビゲーション 
- DVD / CD / MP3 
- ミュージックサーバー 
- 音声操作 
- 付録 



Start Book

DVD/CDユニット内蔵HDDナビゲーションサーバー
AVIC-H99

7.0型ワイドTV付
DVD/CDユニット内蔵HDDナビゲーションサーバーセット
AVIC-XH99

7.0型ワイドTV付
CDユニット内蔵HDDナビゲーションサーバーセット
AVIC-XH77

安全のために必ずお守りください

絵表示について

取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告

[使用方法]

運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

走行中にテレビやビデオを見ない



禁止

運転者がテレビやビデオを見る時は、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。

[異常時の処置]

故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない。音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



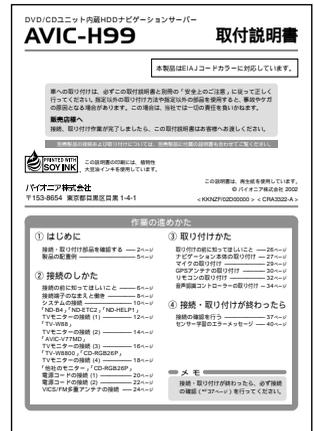
必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

説明書のご利用方法

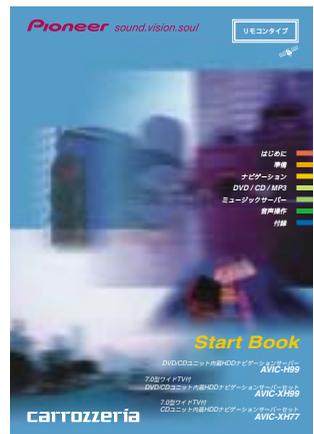
取付説明書

取り付けや接続を行うときにお読みください。機器構成の説明や他の機器との接続のしかたについても、ここで説明しています。



スタートブック (本書)

本機を使い始める前に、必ずお読みください。本機を取り付けた後、実際に使い始める前に知っておいていただきたいことや、ナビゲーションやオーディオの基本的な使いかたを説明しています。



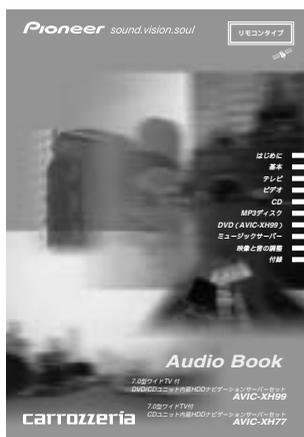
ナビゲーションブック

ナビゲーションの機能を活用したいときにお読みください。ナビゲーションの全機能の使いかたを知ることができます。ナビゲーションの操作辞典としてご利用ください。



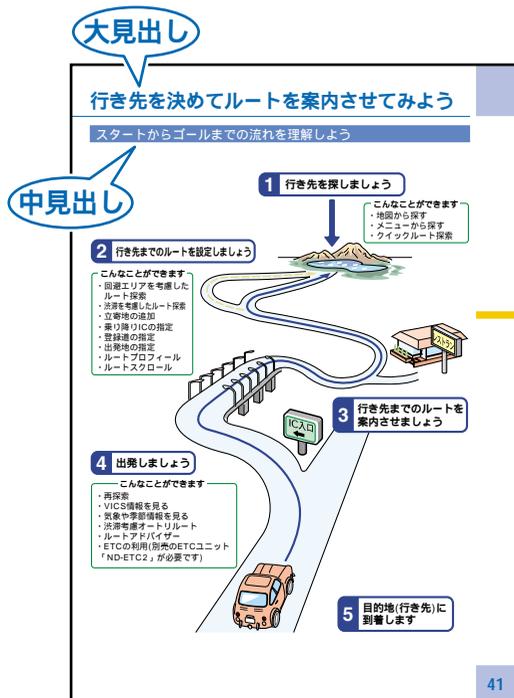
オーディオブック

DVD(AVIC-H99/AVIC-XH99のみ)やオーディオ(CD/MP3ディスク/ミュージックサーバー)、TV(AVIC-XH99/AVIC-XH77のみ)を活用したいときにお読みください。オーディオやDVD、TVの全機能の使いかたを知ることができます。オーディオやDVD、TVの操作辞典としてご利用ください。



本書の見かた

本書をお読みになる前に知っておいていただきたいことや、見たい項目の探しかたなどについて説明します。



ページ内の構成

本書は、操作方法などがわからなくなった場合に、知りたい情報を探しやすいように構成されています。

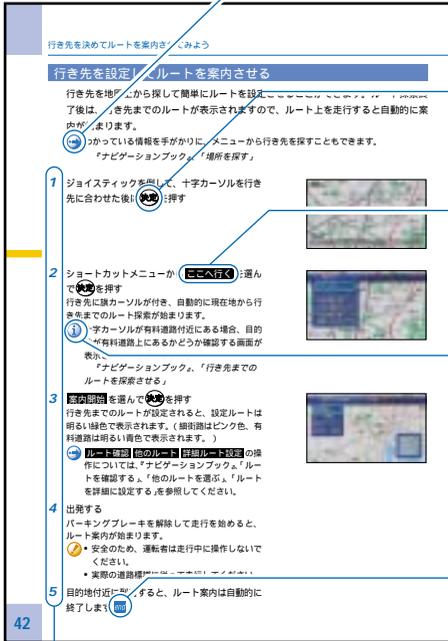
情報の探しかた

大見出しで探す

大見出しは主要機能で構成されています。目次を見て探してください。

中見出しで探す

中見出しは主要機能を実行するための各方法で構成されています。



操作手順の順番を示す番号

参照マーク

参照していただきたい本文タイトルとページ、および他の説明書を導きます。

リモコンや本体上のボタン

リモコンや本体などについているボタンを表します。

画面上のメニューやボタン

画面上に表示されるメニューやボタンを表します。

インフォメーションマーク

操作上、注意すべきことや操作上のヒント、便利な使いかたなどについて説明します。

endマーク

操作手順の終わりを表します。

続きマーク

右ページにおいて、操作手順が次ページに続く場合を表します。

クエスチョンマーク

お客様が疑問を感じると思われる点を上げ、説明しています。

注意マーク

操作を行う状況において注意していただきたいことや、本製品の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて説明します。

本書で使っている画面例は、実際の画面と異なることがあります。

実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

目次

はじめに	安全のために必ずお守りください	2
	安全上のご注意	3
	説明書のご利用方法	4
	本書の見かた	6
	はじめに	10
	特長	10
	ご使用前に知っておいていただきたいこと	12
準備	お使いになる前の準備	15
	各部の名前とおもな働きを知る	15
	リモコンを使う前に	21
	リモコンの使いかたを覚える	23
	電源の入れかた、切りかた	28
	3Dハイブリッドセンサーについて	29
ナビゲーション	地図の見かたや操作を覚えよう	30
	現在地を表示させる	30
	地図の動かしかた	31
	地図の縮小、拡大	33
	地図の表示方法を変えてみよう	34
	メニュー操作の基本を覚えよう	37
	自宅を登録しておこう	39
自宅にいるときは	39	
自宅以外の場所にいるときは	40	
	行き先を決めてルートを案内させてみよう	41
	スタートからゴールまでの流れを理解しよう	41
	行き先を設定してルートを案内させる	42
	自宅に戻るルートを設定して案内させる	44
DVD/CD/MP3	DVD/CD/MP3ディスクの基本操作を覚えよう	45
	DVD/CD/MP3ディスクの再生のしかた	45

ミュージックサーバ	ミュージックサーバを理解しよう	47
	ミュージックサーバとは	47
	ミュージックサーバへの録音	48
	録音した曲のタイトルを取得してみよう	48
	ミュージックサーバの再生のしかた	49
音声操作	音声操作を覚えよう	50
	音声操作の基本	50
	発声の特徴を学習させる	51
	音声でナビゲーションを操作する	53
	ハンズフリーで電話する	54
付録	付録	56
	PCカードの入れかた、出しかた	56
	リセットのしかた	58
	ディスクの正しい使いかた	59
	再生できるディスクの種類	61
	MP3ファイルについて	63
付録	故障かなと思ったら	64
	共通項目	64
	ナビゲーション	65
	DVD	65
	CD	66
	MP3ディスク	66
	ミュージックサーバ	66
3Dハイブリッドセンサーのエラーメッセージ	67	
お客様登録とアフターサービス	69	
仕様	72	
本機のリモコンによる パイオニア製20ピンRGB TVの操作	75	

はじめに

特長

高速化と高精度により、ナビゲーションの基本機能が大きく進化しました。

ハードディスクの搭載により、これまででない高速処理を実現しました

ナビゲーション用の情報記録メディアとして、ハードディスクを採用しました。これにより、圧倒的な高速処理が可能になりました。

測位精度専用のチップを搭載、高精度なナビゲーションを実現します

自車位置を正確に測定できる測位精度専用チップを搭載することにより、高精度な測位を実現します。

3Dハイブリッドセンサーにより、自車位置を正確に表示できます

3Dハイブリッドセンサーで、坂道の登り降り(地面の傾斜)を感知できます。このため、立体交差の道路、地図上で重なりあっている道路なども的確に判断でき、測位に反映します。

D-GPSやマップマッチング機能で、さらに精度を高めています

GPS衛星からの情報に含まれる誤差を修正するD-GPS(ディファレンシャルGPS)や、マップマッチング機能を備えているので、さらに精度の高い測位が可能です。

VICS(道路交通情報通信システム)の情報を利用できます¹

FM多重放送によるVICS情報を受信して、渋滞情報を地図上に表示できます。さらに別売のVICS用ビーコン受信機「ND-B4」を組み合わせれば、ビーコンによるVICS情報を受信することができます。

10mスケールまで地図を詳細に表示できます

10mスケールまでの詳細な地図を表示できるので、入り組んだ道路でも細かく確認できます。(33P)

音声操作がさらに快適になりました

音声認識のスピードアップと音声認識話者学習による認識率の向上により、快適な音声操作ができるようになりました。(50P)

よりドライバーの視点に近い地図表示ができます

ドライバーズビューやスカイシティマップ、シティハイウェイマップで、よりドライバーの走行感覚に近いリアルな表示ができます。(35P)

よく使う道を学習。ルート探索に反映します

ナビゲーションが通った道を学習します。よく使う道をルート探索の際、優先的に利用させることができます。また、ルート案内中に過去に通った道を見つけ選択することもできます。

細い道の探索も行って、ドアtoドア探索ができます

住宅地などの細い道路でも検索することができるため、まさに自宅から目的地までのドアtoドア探索ができます。また、このときに設定されたルート上の細い道路はピンク色で表示されるため、細い道路であることを簡単に判別できます。

ウェブで取得した場所を目的地とすることができます

ウェブで取得した場所を検索し、目的地とすることができます。

地図画面に表示されるロゴマークを編集することができます

地図画面に表示されるロゴマークの編集ができます。元の地図データにない新しい店ができた場合や地図データにある店がなくなった場合などに使用します。

PCカードを使って、機能の拡張やデータの保存・交換ができます

PCカードを使うことで、MP3を再生したりデジタルカメラで撮った映像を地図に貼り付けたりすることができます。また登録地などを保存すれば、友人のHDDナビゲーションサーバーでもそのデータを利用することができます。(56P)

ナビゲーションと情報通信の融合

携帯電話を接続すると、ハンズフリー通話が可能になります

携帯電話を接続すると、音声認識コントローラーとマイクを使用して、運転中でもハンドルを握ったまま通話することができます。(54P)

検索で見つかった施設名から、直接インターネットにアクセスできます

携帯電話を接続してインターネットを利用できるようにすると、ナビゲーションの検索で見つかった施設名から、メニュー操作ひとつでその施設のホームページにアクセスし、詳しい情報を見ることができます。

車の中でメールのやり取りができます
インターネットを利用すると、メールの送信や受信を画面上で行うことができます。

車の中で気象情報を見ることができます

インターネットを利用すると、日本全国の気象情報を取り込んで、画面上で確認することができます。目的地付近の気象情報をチェックしておけば、充実したドライブプランを立てられます。

ナビゲーションとオーディオの融合

ナビゲーション本体でDVDビデオディスク (AVIC-H99/AVIC-XH99のみ) やCD、MP3ファイルを再生できます

映画やライブビデオなど、DVDビデオディスク (AVIC-H99/AVIC-XH99のみ) に収録された映像/音声を再生できます。また、CDやMP3ディスクも再生することができます。(45P)

ナビゲーション本体で音声の録音や再生ができます

(ミュージックサーバー)

ナビゲーション本体で、CDや接続した外部機器 (AVIC-V77MD、AVIC-V77、AVIC-V07MD、AVIC-V07のみ) の音声を録音し、再生することができます。自分の好きな曲だけ集めたり編集することもできます。また、PCカード内のMP3ファイルを再生することもできます。(47P)

CDの曲名などの情報を簡単に取得することができます

CDやミュージックサーバーに録音した曲のアーティスト名や曲名などの情報を、内蔵またはインターネットのデータベースから簡単に取得して表示することができます。ミュージックサーバーに録音した曲を、これらの情報から簡単に探し出して聴くことができます。(48P)

ナビゲーションとスケジュール管理の融合

ナビゲーション本体でスケジュール管理ができます

指定した日時にルート探索や音楽の再生、メッセージ表示をすることももちろん、車検の期限やオイル交換の時期も知らせてくれます。

ドルビーラポラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラポラトリーズの商標です。(AVIC-H99/AVIC-XH99)

本機は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。(AVIC-H99/AVIC-XH99)

ご使用前に知っておいていただきたいこと

お使いになる地図データについて

本機のご使用にあたっては、地図ディスクは必要ありません。地図データは全て本機内蔵のハードディスクに保存されています。

従来からのDVD-ROMディスク(「DVDナビゲーションマップシリーズ」など)、CD-ROMディスク(「スーパーエリアマップシリーズ」や「ロードナビゲーターシリーズ」など)は使用できません。

パイオニア製20ピンRGB TVと組み合わせた場合

本機をパイオニア製20ピンRGB TVと組み合わせた場合、ソース画面は表示されません。([オーディオメニュー]は表示できます)。また本機のリモコンで操作できない機能があります。



「本機のリモコンによるパイオニア製20ピンRGB TVの操作」(75P)

増設ハードディスクについて

CDや接続した外部機器の音声を録音するのに、本機に内蔵したハードディスクの容量では足りない場合、別売のHDDナビゲーションサーバー用10GBハードディスク「ND-HD10」を増設することにより、容量を増やすことができます。

現在地の表示について

初めて本機を使うときは、現在地とは異なる地図が表示されたり、地図上に表示されている現在地と実際の自車位置が大きくずれることがありますが、これは故障ではありません。しばらくすると正しい現在地が表示されます。また、本機は自車位置と現在地の誤差を補正する機能をそなえています。この働きによって、走行を重ねるにつれて精度が高くなり、ずれが少なくなってきます。

3Dハイブリッドセンサーについて

初めて本機を使う場合、電源を入れると自動的に3Dハイブリッドセンサーの初期学習を開始します。

3Dハイブリッドセンサーの初期学習が終了するまでは、GPS衛星のみの測位となるため、自車位置がずれたり止まったりすることがあります。

初期学習が終了すると高精度で自車位置を測位することが可能となります。

安全走行のために

走行中に運転者がナビゲーションの画面に気を取られたり、操作に迷ったりすると大変危険です。交通の状況、歩行者などに十分注意しながら運転してください。

本製品には交通規制データが収録されておりますが、運転に際しては必ず実際の交通標識や案内掲示板などに従ってください。

本機では、パーキングブレーキのON/OFFを検知しており、走行中にテレビやビデオ(AVIC-XH99/AVIC-XH77のみ)などの映像を見ることができないようになっています。また、走行中はナビゲーションやオーディオ、TVモニター(AVIC-XH99/AVIC-XH77のみ)の一部のメニュー操作や地図スクロールはできません。

安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。VICSの規定により、5.5m未満の道路(細街路)以外を走行中は、細街路を表示しません。

昼間と夜間の色の違いについて

夜間、周囲が暗くなってくると、画面が明るすぎて表示されている映像が見えにくくなってしまふことがあります。そこで、本機では昼画面と夜画面とで画面の配色を変えて、それぞれ見やすい画面を表示します。

例えば日没の時刻になると自動的に夜画面に変わるように設定できます。昼画面・夜画面の切り替えを車のライトのON/OFFと連動させたり、つねに昼画面を表示させておくこともできます。

また、AVIC-XH99/AVIC-XH77では周囲の明るさに合わせて、液晶画面の明るさや黒の濃さ、コントラストが自動的に変わります。



昼画面



夜画面

本書では、昼画面を例に説明しています。このため、夜画面が表示されている場合、本書の説明と画面の色が異なる場合があります。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。

画面が見えにくいときは

(AVIC-XH99/AVIC-XH77のみ)

液晶画面は、その構造上きれいな見える角度が限られています。

初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、見る角度に合わせて黒の濃さを調整してください。また、液晶画面自体の明るさも変更できますので、お好みに応じて調整してください。

➡ 『オーディオブック』、「画質の調整をする」を参照してください。

携帯電話をお使いになるときは

(AVIC-XH99/AVIC-XH77のみ)

携帯電話をお使いになるときは、携帯電話のアンテナをTVモニターに近づけないでください。画面にはん点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。

TVモニターの液晶画面を保護するために

(AVIC-XH99/AVIC-XH77のみ)

本機を使用していないときは、TVモニターに直射日光が当たらないようにしてください。高温のために液晶画面が故障する恐れがあります。

➡ 『オーディオブック』、「TVモニターの正しい使いかた」を参照してください。

低温時のハードディスクへの書き込みについて

低温時は、地点の登録（登録地）や登録道の新規登録、ミュージックサーバーへの録音などのハードディスクへの書き込み動作ができない場合があります。車内温度が上昇するまで、しばらくお待ちください。

著作権

本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析等することはできません。

バージョンアップについて

本機のバージョンアップは内蔵ハードディスクの書換えで可能となります。(バージョンアップは有償です。)バージョンアップ書換え作業中は、ナビゲーション・DVDビデオ(AVIC-H99/AVIC-XH99)・CD・MP3ディスク・ミュージックサーバーは使用できません。

書換え作業は10日間程度を予定しておりますが、一時的に書換え数量が集中した場合などは、10日を越える場合があります。

バージョンアップの詳細については、購入後に登録手続きをした方にご案内する予定です。必ず商品同梱「保証書発行兼お客様登録カード」の返送またはインターネットからの登録をお願いします。

お客様の登録されたデータについて

バージョンアップ時および修正時においてお客様の登録されたデータの保証についてはご容赦願います。

PCカード「CNFC-16M」(別売)を利用すると、登録地点データ、登録道データ、ドライブスケジュールデータ、車両メンテナンスデータ、ランドマークリライタブルデータを保管することができます。また、ハードディスク「ND-HD10」(別売)を利用すると、登録地点データ、登録道データ、ランドマークリライタブルデータ、ミュージックサーバーの音楽情報を転送・保管することができます。

その他

弊社は、本製品に収録された地図データ等が完全・正確であること、及び本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。

弊社からの連絡があった場合を除き、本製品のハードディスクを取り外さないでください。

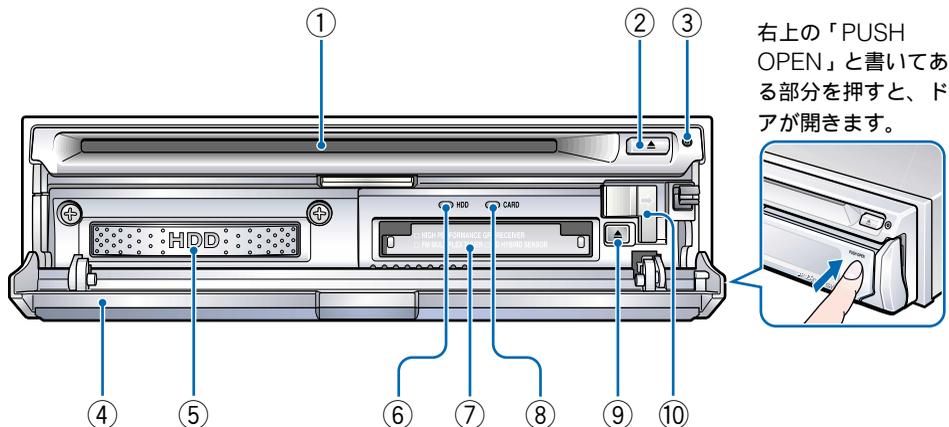
本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。その場合における変更前の本製品の改造、またはお取り替えのご要望には応じかねます。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

お使いになる前の準備

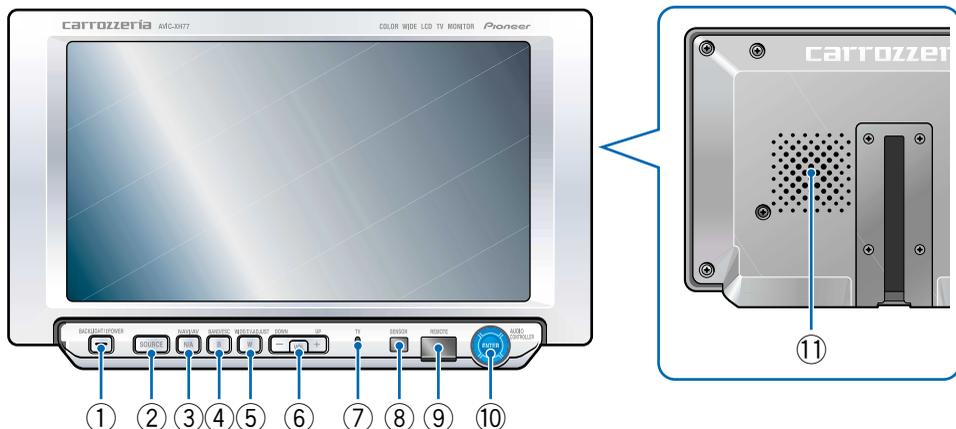
各部の名前とおもな働きを知る

ナビゲーション本体



- ① ディスク挿入口 (45ページ)
DVD (AVIC-H99/AVIC-XH99のみ) や CDなどを挿入します。
- ② ディスク取り出しボタン (45ページ)
CDやDVD (AVIC-H99/AVIC-XH99のみ) などを取り出します。
- ③ リセットボタン (58ページ)
マイコンをリセットします。
- ④ フロントドア (56ページ)
- ⑤ ハードディスクカバー
⚠️ ハードディスクカバーを開けないでください。故障の原因となることがあります。
ハードディスクカバーを開けたことによるトラブルについては、保証いたしかねます。
- ⑥ ハードディスクアクセスランプ
ハードディスクを読み込み、または書き込んでいるときに点灯します。
- ⑦ PCカード挿入口 (56ページ)
PCMCIAタイプIIのPCカードを挿入します。
- ⑧ PCカードPOWERランプ (56ページ)
PCカードが差し込まれていて、通电しているときに点灯します。
- ⑨ PCカード取り出しボタン (57ページ)
- ⑩ PCカードロックレバー (57ページ)

TVモニター（AVIC-XH99/AVIC-XH77のみ）



- ① **BACKLIGHT/POWERボタン** 

TVモニターの電源のON/OFFを切り替えたり、映像のON/OFFを切り替えます。
- ② **SOURCEボタン**

ソース（音源・映像）を切り替えたり、ソースをOFFにします。
- ③ **NAVI/AVボタン**

ナビゲーション画面とソース画面を切り替えるときに使用します。
- ④ **BAND/ESCAPEボタン**

バンドを切り替えたり、[オーディオメニュー]画面やTVモニターの[画質調整]画面が表示されているときに押すと、メニューを解除します。
- ⑤ **WIDE/V.ADJUSTボタン**

TVモニターのワイドモードを切り替えたり、[画質調整]画面を表示します。
- ⑥ **VOLUMEボタン**

内蔵スピーカーの音量を調整します。

	音量を大きくするとき
	音量を小さくするとき
- ⑦ **TVランプ**

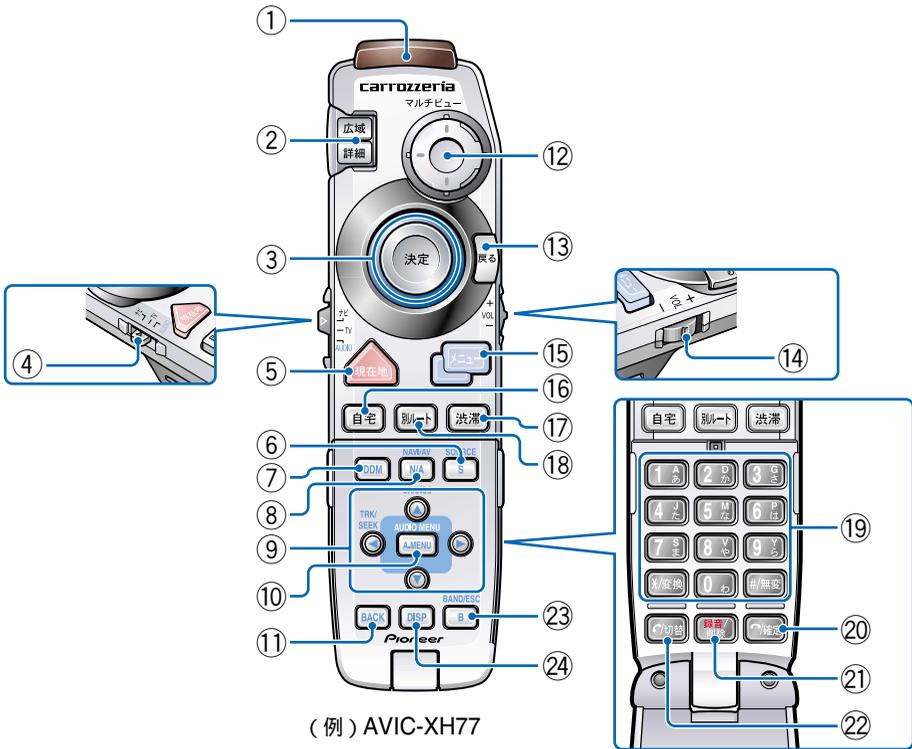
本機の電源が入っているときに点灯します。
- ⑧ **外光センサー**

周囲の明るさを感知します。
- ⑨ **リモコン受光部**（ 26ページ）

リモコンからの信号を受信します。
- ⑩ **AUDIOコントローラー/ENTERボタン**

[オーディオメニュー]の操作や選曲、選局などに使用します。
- ⑪ **内蔵スピーカー**

リモコン



(例) AVIC-XH77

- ① リモコン送信部 (26ページ)
ここからリモコンの信号が送られます。
- ② スケールコントローラー (33ページ)
地図の縮尺を変えるときに使います。
- ③ ジョイスティック/決定ボタン **決定** (31、37ページ)
地図の移動や、項目の選択・決定などに使
用します。
- ④ 操作モード切り替えスイッチ (23ページ)
リモコンで操作するモードを切り替えます。
- ⑤ 現在地ボタン **現在地** (30ページ)
地図上に自分の車の現在地を表示します。
- ⑥ SOURCEボタン (24、25、45、49ページ)
ソースの音声を切り替えたり、ソースを
OFFにします。

- ⑦ **DOUBLE DISPLAY MODE**ボタン
DDM (24ページ)
 2画面表示に切り替えるときに使います。
- ⑧ **NAVI/AV**ボタン (24ページ)
 ナビゲーション画面とソース画面を切り替えるときに使います。
- ⑨ **▲ボタン/▼ボタン/◀ボタン/▶ボタン**
 (24、25、49ページ)
- ⑩ **AUDIO MENU**ボタン
 (24、38ページ)
 [オーディオメニュー] を表示したり、項目を決定するときに使います。
- ⑪ **BACK**ボタン (24、38ページ)
 オーディオメニュー画面で、前の画面に戻るときに使用します。
- ⑫ **マルチビューコントローラー**
 (34ページ)
 地図の表示方法を変えるときに使います。また、地図の向きを変えたり、地図を見る角度を変えるときにも使用します。
- ⑬ **戻るボタン** **戻る** (37ページ)
 ナビゲーションのメニュー画面で、前の画面に戻るときに使用します。
- ⑭ **VOLUME**ツマミ
 (24、25ページ)
- ⑮ **メニューボタン** **メニュー**
 (37ページ)
 ナビゲーションのメニュー画面を表示させるときに使用します。
- ⑯ **自宅ボタン** **自宅** (39、40、44ページ)
 自宅を登録するときに使用します。自宅を登録してあるときは、自宅までのルートを探します。
- ⑰ **渋滞ボタン** **渋滞**
 VICS情報から、ルート上の渋滞表示を見たり音声で渋滞案内を聞きたいときに押します。
- ⑱ **別ルートボタン** **別ルート**
 すでに設定されているルートとは別のルートを探させるときに使用します。
- ⑲ **10キー**
 ナビゲーションの電話番号検索、携帯電話のダイヤル、文字入力、10キーカスタマイズ機能を使った操作などに使います。
- ⑳ **オンフック/確定ボタン** **確定**
 (**確定**)
 通話を終了したり応答保留したりするときに使います。また、入力した文字を確定するときにも使います。
- ㉑ **録音/削除ボタン** **録音/削除** (**削除**)
 CDや接続した外部機器の音声の録音や、入力した文字を削除するときに使います。
- ㉒ **オフフック/切替ボタン** **切替**
 (**切替**)
 電話をかけるときや受けるとき、文字の種類を切り替えるときに使います。
- ㉓ **BAND/ESCAPE**ボタン
 (24、25、38ページ)
 バンドを切り替えたり、[オーディオメニュー] 画面やTVモニターの [画質調整] 画面が表示されているときに押すと、メニューを解除します。
- ㉔ **DISPLAY**ボタン (24ページ)
 ソースプレートを表示させたり消去するときに使います。
- AVIC-H99、AVIC-XH99は、AVIC-XH77と印刷されている文字が異なります。

共通操作ボタン対応表

本書では、ナビゲーション本体に付属するリモコンと、TVモニターおよびTVモニターに付属のリモコンに共通するボタンを、同じマークで表して操作説明をします。

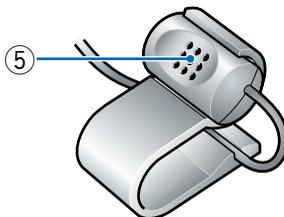
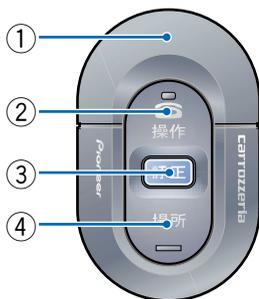
ナビゲーション本体 に付属のリモコン	TVに付属の リモコン ¹	TVモニターのボタン ¹	本書で使用する マーク
-	WIDE ボタン	WIDE/V.ADJUST ボタン	
NAVI/AV ボタン	NAVI/AV ボタン	NAVI/AV ボタン	 ²
SOURCE ボタン	SOURCE ボタン	SOURCE ボタン	
▲ボタン	▲ボタン	AUDIOコントローラー/ ENTERボタンを上を倒す	
▼ボタン	▼ボタン	AUDIOコントローラー/ ENTERボタンを下を倒す	
◀ボタン	◀ボタン	AUDIOコントローラー/ ENTERボタンを左を倒す	
▶ボタン	▶ボタン	AUDIOコントローラー/ ENTERボタンを右を倒す	
AUDIO MENU ボタン	AUDIO MENU ボタン	AUDIOコントローラー/ ENTERボタンを押す	
BACKボタン	BACKボタン	3	
BAND/ESCAPE ボタン	BAND/ESCAPE ボタン	BAND/ESCAPE ボタン	

1 組み合わせるTVモニターによっては、ボタンおよびボタン名称が異なる場合があります。

2 AVIC-V07MD、AVIC-V07、TV-W08の場合はV.CHANGEボタンです。

3 TVモニター本体のWIDE/V.ADJUSTボタンで、1つ前のメニュー画面に戻ることができます。

音声認識コントローラー/マイク



① 送信部

ここから音声認識コントローラーの信号が送られます。

② 操作ボタン **操作**

(50、52、53、54、55ページ)

- ナビゲーションを音声で操作したいときに押します。
- 携帯電話を接続している場合、このボタンで電話をかけたリ、かかってきた電話を受けられます。通話が終わったときに押すと電話が切れます。

③ 訂正ボタン **訂正**(54、55ページ)

- 音声での操作中に、直前の操作を取り消すときに押します。
- 携帯電話を接続している場合、このボタンを押すと、かかってきた電話を応答保留することができます。

④ 場所ボタン **場所**(50、53、54ページ)

音声入力で場所を探したいときに押します。

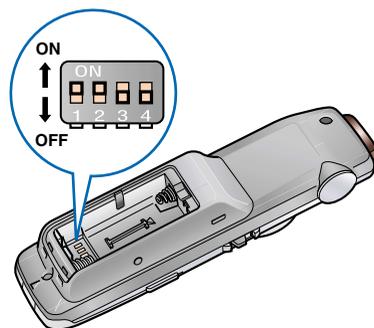
⑤ マイク (50ページ)

操作、**場所** ボタンを押したあと、このマイクを通してナビゲーションを操作します。電話を利用する場合も、このマイクを使って通話します。

リモコンを使う前に

リモコンをTVモニターに合わせて設定する組み合わせるTVモニターやカーステレオにより、スイッチ1からスイッチ4を以下のように設定してください。

リモコン設定スイッチは、リモコンの裏ボタンをはずしたリモコン本体内にあり、設定はボールペンの先などでスイッチを動かしてください。



スイッチ1、2、4

組み合わせるモニター	スイッチ1	スイッチ2	スイッチ4
AVIC-V77MD、AVIC-V77	ON	ON	ON
TV-W88、AVIC-XH99、AVIC-XH77	ON	OFF	ON
AVIC-V07MD、AVIC-V07	ON	ON	OFF
TV-W08、AVIC-XH09V、AVIC-XH07V	ON	OFF	OFF
TV-W8800、AVX-P777、AVX-P7CDなど (パイオニア製20ピンRGB TV)	OFF	ON	ON
他社製TV (RCA接続TV)	OFF	OFF	ON

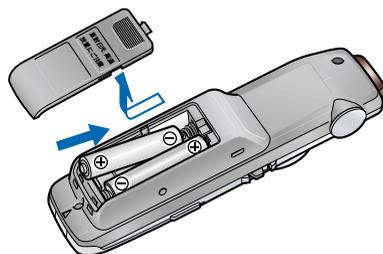
スイッチ3

組み合わせるカーステレオ	スイッチ3
パイオニア製カーステレオ	OFF
AVM-P7000、AVM-P9など (パイオニア製AVマスターユニット)	ON

リモコンに電池をセットする

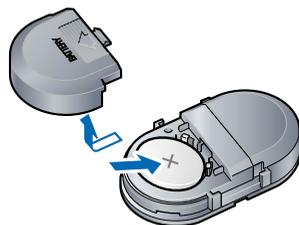
リモコン

裏布たをはずして、単4形アルカリ乾電池 (LR03) 2本をセットします。



音声認識コントローラー

裏布たをはずして、リチウム電池 (CR2032) を (+) 側を上にしてセットします。

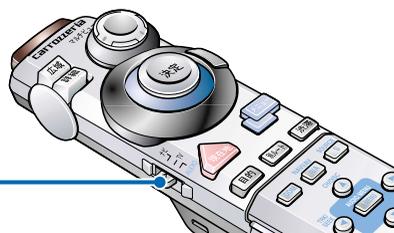
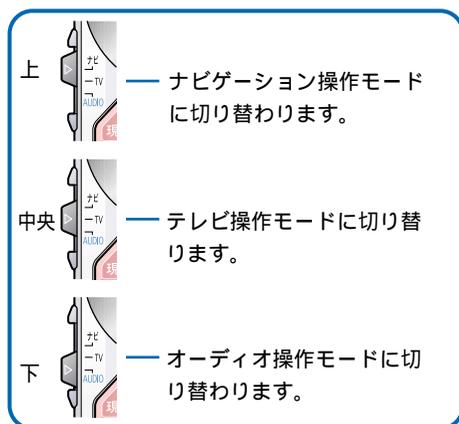


- ⚠️ • リモコンや音声認識コントローラーを長期間使わないときは、電池を取り出してください。また、取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 電池の液もれが起こったときは、内部に付着した液をよく拭き取ってから新しい電池と入れ換えてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示(条例)に従って処理してください。
- ℹ️ • 乾電池やリチウム電池は充電できません。
- リモコンや音声認識コントローラーからの信号が受け付けられる範囲が狭くなってきたり、スクロールの速度や反応が鈍くなったりしたときは、新しい電池と交換してください。
- リモコンの電池を交換するときは、電池寿命の長いアルカリ電池のご使用をおすすめします。

リモコンの使いかたを覚える

リモコンの操作モードについて

本機に付属のリモコンでは、ナビゲーションの操作はもちろん、本機内蔵のオーディオやパイオニア製カーステレオの操作もすることができます。操作モードは、リモコンの左側面にある操作モード切り替えスイッチで切り替えます。操作モードを切り替えることによって、リモコンの各ボタンの働きが変わります。



ナビゲーション操作モード/TV操作モードに切り替えた場合

ナビゲーションやオーディオ（テレビ、CD、MP3ディスク、ミュージックサーバー）の操作を行います。

VOLUMEツマミ
ナビゲーション操作モードのときは、ナビゲーションの音声案内の音量を、TV操作モードのときは、TVモニターの内蔵スピーカーの音量を調整できます。ツマミを押し込むと、ソースの音声のみON/OFFすることができます。（AVIC-V77MD、AVIC-V77、AVIC-V07MD、AVIC-V07と組み合わせた場合は、アッテネーターをON/OFFします。他社製TV（RCA接続TV）と組み合わせた場合は、ナビゲーションの音量を調整できます。）

DDM
2画面表示に切り替えるときに使用します。

N/A
ナビゲーション画面とソース画面を切り替えるときに使用します。

SOURCE
オーディオのソース（音声）を切り替えたり、ソースをOFFにします。

▲▼▶◀
[オーディオメニュー]の項目などの選択に使用します。

BAND/ESC
バンドを切り替えたり、オーディオメニュー画面やTVモニターの画質調整画面が表示されているときに押すと、メニューを解除します。

A.MENU
[オーディオメニュー]を表示したり、項目を決定するときに使用します。

DISP
ソースプレートを表示させるときに使用します。

BACK
1つ前のオーディオメニュー画面に戻ることができます。

ナビゲーション操作に使用

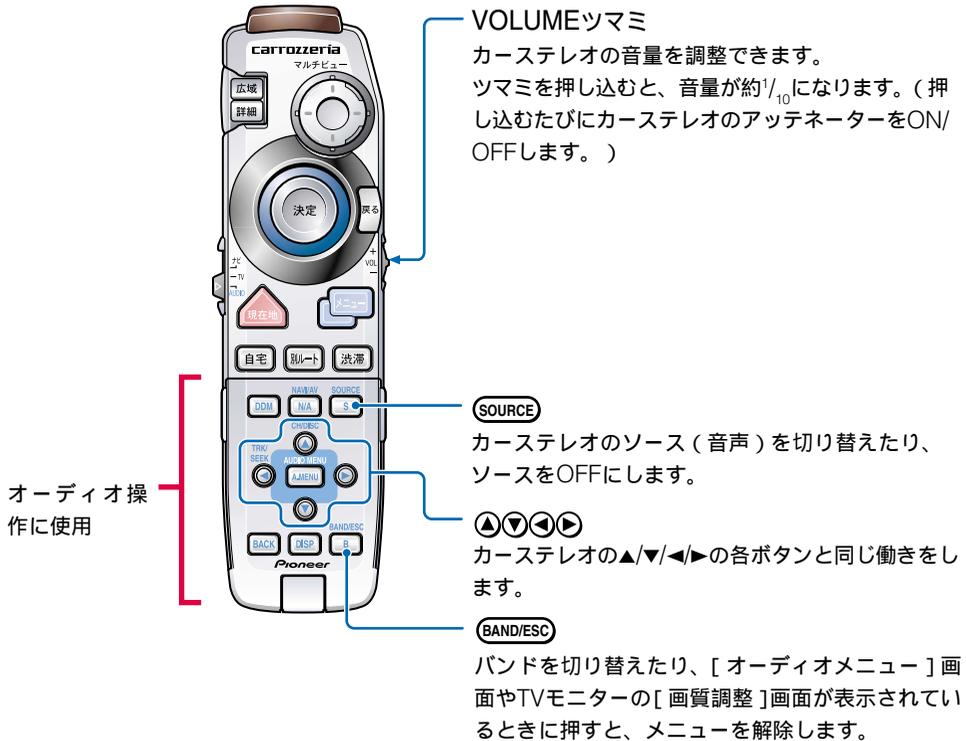
オーディオ操作に使用

- ① リモコンで操作を行う場合は、操作モード切り替えスイッチの位置を確認してから操作してください。
- ナビゲーションの音量調整は、ナビゲーション画面表示時（ピクチャーサイドピクチャー、ピクチャーインピクチャーを含む）のみ操作することができます。
- パイオニア製20ピンRGB TVを組み合わせた場合、TVの操作はTV操作モードに切り替えてください。
- 組み合わせるパイオニア製20ピンRGB TVによって、本機のリモコンで操作できない機能があります。

「本機のリモコンによるパイオニア製20ピンRGB TVの操作」（75P）

オーディオ操作モードに切り替えた場合

パイオニア製カーステレオの一部の操作ができます。



- ➡ AVIC-H99、AVIC-XH99ではオーディオ操作モードに切り替えると、ナビゲーションで使用する各ボタンでDVDの操作をすることができます。
『オーディオブック』、『リモコンの各ボタンの表記』
- ⓘ
 - オーディオ操作モードでカーステレオの操作を行う場合は、リモコンをカーステレオに向けて操作してください。
 - リモコンで操作を行う場合は、操作モード切り替えスイッチの位置を確認してから操作してください。
 - 組み合わせるカーステレオによっては、本機のリモコンで操作できない場合があります。
 - AVIC-V77MD、AVIC-V77、AVIC-V07MD、AVIC-V07と組み合わせた場合は、オーディオ操作モードに切り替えても、**SOURCE**、**▲▼◀▶**、**BAND/ESC**、VOLUMEツマミを操作することができます。

リモコンを向ける方向

本機と組み合わせるTVモニターによって、リモコンを向ける方向が異なります。

パイオニア製TVモニターと組み合わせている場合

リモコンの先端(送信部)をTVモニターの受光部に向けて操作します。



他社製のTVモニターと組み合わせている場合

他社製のTVモニターを組み合わせてご使用になる場合は、受光部付スピーカー(別売の「CD-TS36」)を取り付けると、付属のリモコンを使用することができます。

リモコンの先端(送信部)を受光部付スピーカーに向けて操作します。



- 🔦 リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障することがあります。リモコンを使用しないときは、グローブボックスなど直射日光の当たらないところに保管してください。
- 📄 ● 受光部に直接日光が当たっていると、リモコンの操作ができないことがあります。このような場合は、日光をさえぎってからリモコン操作をしてください。
- 他社製のTVモニターを組み合わせる場合は、受光部付スピーカー「CD-TS36」(別売)とRGB変換アダプター「CD-RGB26P」(別売)が必要です。

リモコンの操作説明について

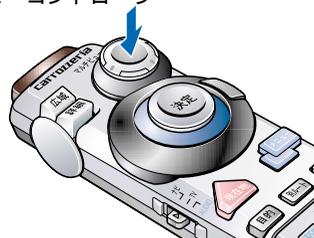
決定ボタン[Ⓢ]/マルチビューコントローラーの押しかた

本書で「[Ⓢ]を押す」と表記されているときは、リモコンの決定ボタンを上からカチッと1回押します。マルチビューコントローラーの場合も同様です。

決定ボタン



マルチビューコントローラー



ジョイスティック/マルチビューコントローラーの倒しかた

本書で「ジョイスティックを倒す」と表記されているときは、リモコンのジョイスティックを上下・左右・斜めに傾けます。マルチビューコントローラーの場合も同様です。

ジョイスティック



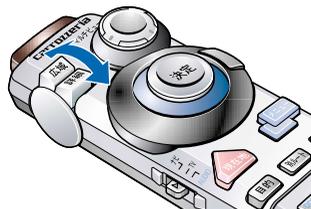
マルチビューコントローラー



スケールコントローラーの倒しかた

本書で「スケールコントローラーを倒す」と表記されているときは、スケールコントローラーを〔広域〕側や〔詳細〕側に傾けます。

スケールコントローラー



電源の入れかた、切りかた

本機の電源は、車のエンジンをかけると自動的に入り、エンジンを切ると電源も切れます。

-  本機をお使いなるときは、必ず車のエンジンをかけてください。エンジンがかっていないときに本機を使用すると、バッテリーが消耗します。
-  地図データは本機内蔵のハードディスクに収納されているため、ディスクを入れることなくナビゲーションをご使用できます。
 - 3Dハイブリッドセンサーの初期学習が終了するまで、[ナビゲーションを起動します。よろしければ[現在地]を押してください。[切替]を押すと店頭展示モードで起動します。【注意】店頭展示モードでは、ルート設定すると自動的にデモ走行が始まります。]とメッセージが表示されますので^①現在地を押してください。
「3Dハイブリッドセンサーについて」(29P)
 - FM多重用アンテナ分配器「RD-FD20」(別売)を使用して、FM多重用のアンテナとして車載のオートアンテナを本機に接続した場合は、本機の電源ON(エンジンのON)に連動してオートアンテナが上がりますので屋内ではご注意ください。駐車場や洗車などでアンテナを下げる場合には10キーのいずれかに「オートアンテナをON/OFFする」を割り当てます。(『ナビゲーションブック』「10キーをカスタマイズする」)割り当てた10キーを押すとアンテナが下がります。再度押すとアンテナが上がります。

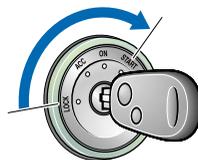
3Dハイブリッドセンサーについて

初めてお使いになる場合は、高精度に自車位置を測位するために、本機の電源を入れた（エンジンをONにした）後に本機内蔵の3Dハイブリッドセンサーの初期学習を自動的に開始します。

- ➡ ● 3Dハイブリッドセンサーについては、『ナビゲーションブック』、「ナビゲーションのしくみ」を参照してください。
- 次の場合は、メニューからセンサー学習をクリアしてください。
 - － 本機の設置場所を変更した
 - － タイヤを変更した
 - － 未使用のセンサーメモリーに切り替えた『ナビゲーションブック』、「メモリークリア作業の流れ」

初期学習を開始させる

- 1 本機を取り付け後、初めてエンジンをかける
本機の電源が入り、[ナビゲーションを起動します。
よろしければ〔現在地〕を押してください。〔切替〕
を押すと店頭展示モードで起動します。【注意】店頭
展示モードでは、ルート設定すると自動的にデモ走
行が始まります。]とメッセージが表示されます。



- 2 **現在地**を押す

自動的に3Dハイブリッドセンサーの初期学習を開始します。

3Dハイブリッドセンサーの初期学習には、しばらく時間がかかります。それまでの間はGPS衛星のみの測位となるため、自車位置がずれたり止まったりすることがありますが、故障ではありません。初期学習が終了すると高精度で自車位置を測位することが可能となります。



- ① 店頭表示モードは、店頭でのデモンストレーション用ですので、**切替**は押さないでください。
- ➡ エラーメッセージが表示されたときは、「3Dハイブリッドセンサーのエラーメッセージ」（67P）を参照してください。 **end**

地図の見かたや操作を覚えよう

現在地を表示させる

リモコンの^{現在地}を押すと、自分の車の現在地周辺の地図を表示します。
現在地画面は、車の走行に合わせて自動的に動きます。

現在地画面



地図の動かしかた

地図を動かすには、ジョイスティックを動かしたい方向へ倒します。

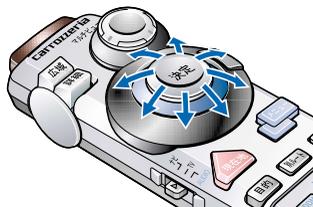
倒した方向に地図が動き（スクロール）、画面の中央には自車マークに変わって十字カーソルが表示されます。

i 走行中は、ジョイスティックを倒すと、自動で画面半分程スクロールします。ただし、詳細市街地図表示中はスクロールできません。

→ 『ナビゲーションブック』、「見たい場所まで地図を動かす」を参照してください。

1 地図を動かしたい方向にジョイスティックを倒す
ジョイスティックを倒し続けている間、地図が動き続けます。

i ジョイスティックを倒しながら**決定**を押すと、地図をすばやく動かすことができます（ハイパースクロール）。



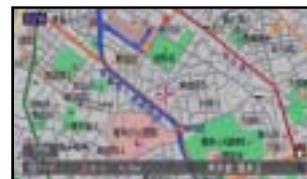
現在地画面



スクロール画面



スクロール停止



2 地図を止めたい場合は、ジョイスティックから指を離す

→ 地図上には、いろいろな情報が表示されます。

「スクロール画面」(32P) **end**

スクロール画面

スクロール中



スクロール方面
表示
地図の縮尺を、10m
~1kmスケールにし
ている場合に表示さ
れます。

スクロール停止



現在地の方向
十字カーソル位置と
現在地を結んだ線。

十字カーソル
画面の中心に表示さ
れます。

現在地から十字
カーソル位置ま
での直線距離

十字カーソル
位置の地名
十字カーソル位置
周辺の地名を示し
ます。

地図の縮小、拡大

地図の縮小、拡大は、スケールが10m～500kmまでの15段階に変化させることができます。

〔広域〕側に倒すと、地図の縮尺が大きくなり、より広い範囲が表示されます。

〔詳細〕側に倒すと、地図の縮尺が小さくなり、より詳しい地図が表示されます。

➡ 『ナビゲーションブック』、「地図の縮尺を変える」を参照してください。

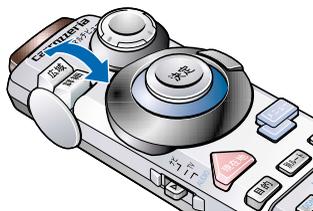
1 地図をより広く見たい場合は〔広域〕側に、より詳しく見たい場合は〔詳細〕側にスケールコントローラーを倒す

縮尺表示の下にスケールバーが表示され、現在のスケールがわかります。

スケールコントローラーを倒すごとに、縮尺が変わります。

(例：10m↔25m↔50m↔100m↔...)

① スケールコントローラーを倒し続けると、細かく縮尺が変わります(フリーズーム)。ただし、走行中は安全のためフリーズームの操作はできません。end



〔詳細〕側に倒す



〔広域〕側に倒す



スケールバー
現在のスケールを表示します。

地図の表示方法を変えてみよう

さまざまな状況に応じて地図の表示方法を変えることができます。

地図の表示方法は、5種類あります。

ノーマルビュー（2D表示）	通常の地図（平面の地図）で表示されます。
スカイビュー（3D表示）	上空から見ているような地図を表示します。
ドライバーズビュー（3D表示）	ドライバーの目線から見たような地図を表示します。 都市高速走行中はシティハイウェイマップになります。
ツインビュー（2画面表示）	画面を左右2つに分割し、左画面はスカイビュー、右画面はノーマルビューで表示します。
ハイウェイモード	高速道路走行時の専用画面で、走行に役立つ情報が表示されます。

 各種類の詳細な情報は、『ナビゲーションブック』、「地図の表示方法を変える」を参照してください。

- 1 地図が表示されている状態でマルチビューコントローラーを押す
ビュー切り替えメニューが表示されます。
メニュー上段には、現在選択されている表示方法の名前が表示されます。



- 2 マルチビューコントローラーを左右に倒して表示方法を選ぶ

-  • ドライバーズビューを選択しているときは、都市高速では自動的にシティハイウェイマップになります。
- ハイウェイモードは、高速道路以外では選ぶことができません。



- 3 マルチビューコントローラーを押す
選択した表示方法で地図が表示されます。 



表示方法の種類

ノーマルビュー（2D表示）

通常の地図（平面の地図）で表示されます。



縮尺が10m～50mスケールでは、地域によって詳細な市街地図が表示されます（シティマップ）。

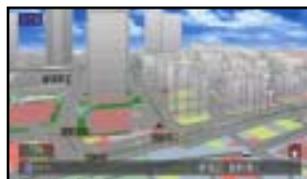


スカイビュー（3D表示）

上空から見ているような地図を表示します。



縮尺が10m～50mスケールでは、地域によって立体的な市街地図が表示されます（スカイシティマップ）。



ドライバーズビュー（3D表示）

ドライバーの目線から見たような地図を表示します。

信号やお店など、目印となる建物などが立体的に表示されます（一部表示されない場所もあります）。また、画面中にはノーマルビューの地図も表示されます（ウィンドウマップ）。

都市高速走行中は、走行に役立つ高速道路の情報が表示されます（シティハイウェイマップ）。



ツインビュー（2画面表示）

画面を左右2つに分割表示し、広域地図を表示させながら自車位置周辺の詳細地図を表示させたい場合などに便利です。

右画面ではノーマルビューで自車位置を表示します。左画面では、スクロール、回転、角度の変更などができます。



ハイウェイモード

高速道路走行時の専用画面です。

前方の高速道路施設までの距離や高速料金、高速の分岐方向（ルート案内時）などが表示されます。また、右側にはサイドマップとして地図が表示されます。



メニュー操作の基本を覚えよう

本機の基本的な操作は、メニューから項目を選んで行います。

スタートメニューを表示させる

ナビゲーションを利用する場合は、メニューを表示させます。

- ① 安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
- ② 各メニュー項目の内容は、『ナビゲーションブック』、「スタートメニュー」を参照してください。

1 を押す

ナビゲーション用のメニューが表示されます。



2 ジョイスティックを上下に倒してメニュー項目を選び、 を押す

選んだ項目を実行します。

- ①  を押すと、前の画面に戻ります。 **end**



ショートカットメニューを表示させる

十字カーソル位置または現在地に対して、ルート探索や場所の登録など、利用頻度の高い機能が割り当てられており、その操作をすばやく行うことができます。通常のメニューからの操作ステップをいくつか省略して、すばやく簡単に操作できます。

- 1 十字カーソル、または自車マークが表示されている状態で**(決定)**を押す
その場所に対するショートカットメニューが表示されます。

- ① 十字カーソルか自車マークかによって、ショートカットメニューでできる操作が変わります。
- **(戻る)**を押すと、前の画面に戻ります。 *end*



オーディオメニューを表示させる

CD、MP3ディスク、ミュージックサーバーなどを利用する場合は、[オーディオメニュー]を表示させます。

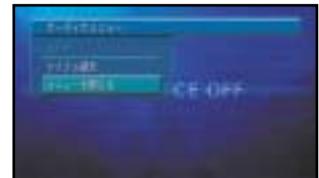
- ① 安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

- 1 **(A.MENU)**を押す
[オーディオメニュー]が表示されます。



- 2 **(▲)****(▼)**を押してメニュー項目を選び、**(A.MENU)**を押す
選んだ項目を決定します。

- ① **(メニューを閉じる)** **(戻る)**を選ぶ、または**(BACK)**を押すと、前の画面に戻ります。
- [オーディオメニュー]を解除するには**(BAND/ESC)**を押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも自動的に解除します。)
- [オーディオメニュー]の設定中に、ハンズフリー音声、音声案内の割り込みがあった場合は、[オーディオメニュー]を終了して、それぞれの操作になります。また、音声案内中は「オーディオメニュー」は表示できません。 *end*



自宅を登録しておこう

本機を使い始める前に自宅の場所を登録しておきましょう。自宅の場所を登録しておくと、ドライブ先から自宅へ帰るときなど、簡単な操作でルートを設定できるようになります。

自宅にいるときは

i 安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

1 **自宅**を押す

地図上で自宅の位置が合っていることを確認してください。

ずれている場合は、ジョイスティックを倒して十字カーソルを自宅位置に合わせてから、**自宅**を押してください。



2 **決定**を押す

十字カーソルの場所を自宅として登録します。

↔ 自宅の場所を変更したい場合は、『ナビゲーションブック』、「登録地の位置を変更する」を参照してください。 **end**



自宅以外の場所にいるときは

i 安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

1 ジョイスティックを倒して十字カーソルを自宅位置に合わせる



2 **自宅**を押す



3 **決定**を押す
十字カーソルの場所を自宅として登録します。



- • ショートカットメニューから自宅を登録したい場合は『ナビゲーションブック』、「探した場所を登録する」に従って場所を登録した後、「自宅に変更する」を参照して登録地を自宅に変更してください。
- 自宅の場所を変更したい場合は、『ナビゲーションブック』、「登録地の位置を変更する」を参照してください。 **end**

行き先を決めてルート案内させてみよう

スタートからゴールまでの流れを理解しよう

1 行き先を探しましょう

こんなことができます

- ・地図から探す
- ・メニューから探す
- ・クイックルート探索

2 行き先までのルートを設定しましょう

こんなことができます

- ・回避エリアを考慮したルート探索
- ・渋滞を考慮したルート探索
- ・立寄地の追加
- ・乗り降りICの指定
- ・登録道の指定
- ・出発地の指定
- ・ルートプロフィール
- ・ルートスクロール

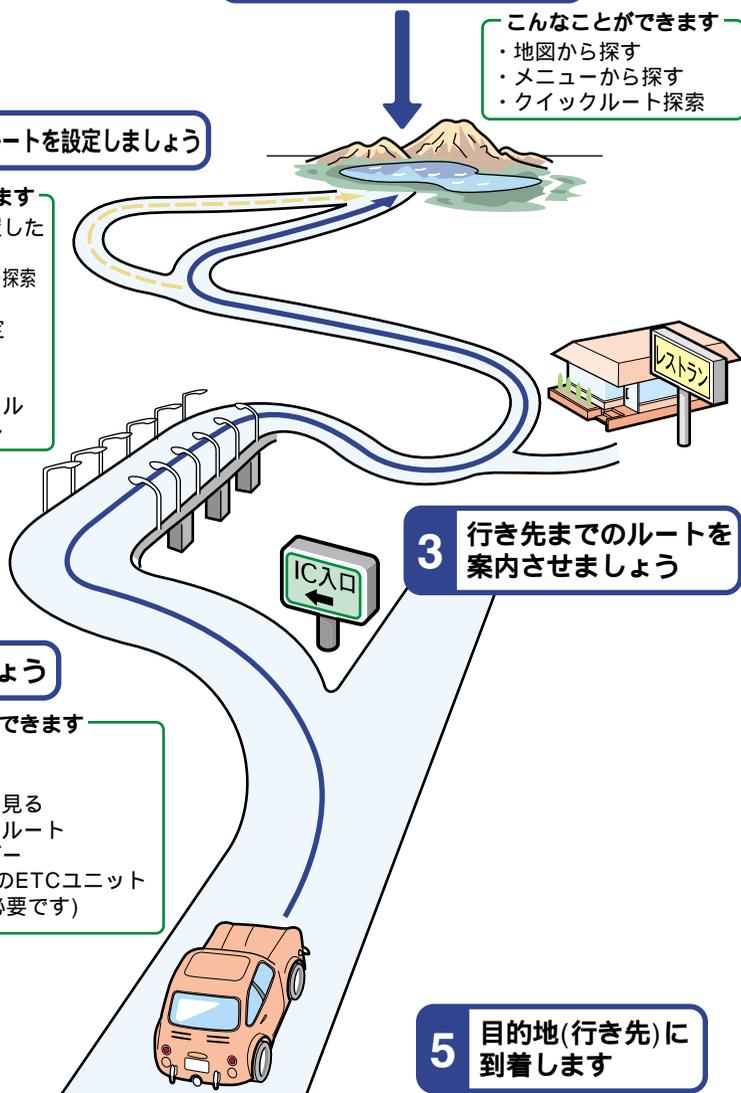
3 行き先までのルート案内させましょう

4 出発しましょう

こんなことができます

- ・再探索
- ・VICS情報を見る
- ・気象や季節情報を見る
- ・渋滞考慮オートリルート
- ・ルートアドバイザー
- ・ETCの利用(別売のETCユニット「ND-ETC2」が必要です)

5 目的地(行き先)に到着します



行き先を設定してルートを案内させる

行き先を地図上から探して簡単にルートを設定させることができます。ルート探索終了後は、行き先までのルートが表示されますので、ルート上を走行すると自動的に案内が始まります。

- 👉 わかっている情報を手がかりに、メニューから行き先を探すこともできます。
『ナビゲーションブック』、「場所を探す」

- 1 ジョイスティックを倒して、十字カーソルを行き先に合わせた後に**決定**を押す



- 2 ショートカットメニューから**ここへ行く**を選んで**決定**を押す

行き先に旗カーソルが付き、自動的に現在地から行き先までのルート探索が始まります。

- ① 十字カーソルが有料道路付近にある場合、目的地が有料道路上にあるかどうか確認する画面が表示されることがあります。

『ナビゲーションブック』、「行き先までのルートを探させる」



- 3 **案内開始**を選んで**決定**を押す

行き先までのルートが設定されると、設定ルートは明るい緑色で表示されます。(細街路はピンク色、有料道路は明るい青色で表示されます。)

- 👉 **ルート確認** **他のルート** **詳細ルート設定** の操作については、『ナビゲーションブック』、「ルートを確認する」、「他のルートを選ぶ」、「ルートを詳細に設定する」を参照してください。



- 4 出発する

パーキングブレーキを解除して走行を始めると、ルート案内が始まります。

- 🚗 • 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。
• 実際の道路標識に従って走行してください。

- 5 目的地付近に到着すると、ルート案内は自動的に終了します **end**

ルート案内中の画面

目的地まで誘導させるルートが設定されている場合に表示されます。

ルート

設定したルートは、一般道路は明るい緑色(細街路はピンク色、有料道路は明るい青色)で表示されます。

ルートインフォメーション

2つ先までの案内地点の距離、進行方向、次の案内地点の交差点名称が表示されます。



目的地の方向

現在地と目的地を結んだ線。

目的地までの道のり
距離と到着予想時刻

現在地画面

交差点から離れる
と現在地画面に戻
ります。

交差点に近づく
と交差点案内画面
変わります。

交差点案内画面

レーン案内表示

レーンごとの進行方向が表示
されます。

ドライバーズビュー



次の案内地点の名称
と、そこまでの距離、
進行方向

ランドマーク
信号や目印になるお店
などが表示されます。

ウィンドウマップ

ノーマルビューの地図
が表示されます。

自宅に帰るルートを設定して案内させる

自宅が登録されている場合は、ワンタッチ操作で自宅へ帰るルートを探索させることができます。ルート探索終了後は、自宅までのルートが表示されますので、ルート上を走行すると自動的に案内が始まります。

- 1 地図画面が表示されている状態で**自宅**を押す



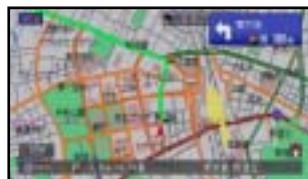
- 2 **決定**を押す

自宅まで戻る最も効率のよいルートを、自動的に1本だけ探索します。

i 他の行き先までのルートが設定されていないときは、**決定**を押さなくても探索が始まります。

→ 最も効率のよいルートは、登録他の探索条件、ルート探索時の条件によって異なります。

『ナビゲーションブック』、「登録地の探索条件を変更する」、「機能設定」



自宅までのルートが設定されると、設定ルートは明るい緑色で表示されます。(細街路はピンク色、高速道路は明るい青色で表示されます。)

- 3 出発する

実際の道路標識に従って走行してください。

設定ルート上を走行すると、音声案内が流れ、ルート案内が始まります。

- 4 自宅付近に到着すると、ルート案内は自動的に終了します **end**

DVD状態表示画面の見かた (AVIC-H99、AVIC-XH99のみ)

(ナビゲーション画面を表示中にDVDを入れたときの例)



- i** パーキングブレーキをかけているときは、**[N/A]**を押すとDVDの映像を楽しむことができます。走行中は音声のみでお楽しみください。

CDやMP3ディスク状態表示画面の見かた

(ナビゲーション画面を表示中にCDを入れたときの例)

ソース表示

MP3ファイルが記録されたCD-ROM/R/RWの場合はMP3と表示されます。

ディスクタイトル表示

録音中表示
ミュージック
サーバーへの録
音状態を
表示し
ます。(CDの
場合のみ)



トラックタイトル
表示
トラックNo.と
トラックタイトルを
表示します。

経過時間表示
再生中のトラックの経過時間を表示します。

- i** **[N/A]**を押すと、CDやMP3ディスクの専用画面に切り替えることができます。専用画面ではリスト表示します。
- ディスクタイトルとトラックタイトルは、全角16文字(半角32文字)まで表示されます。
 - 録音中の場合は、地図画面の右上に **[R]** が表示されます。
 - MP3ディスクでは、ディスクタイトル表示/トラックタイトル表示にフォルダやファイル名が表示される場合があります。

ミュージックサーバーを理解しよう

ミュージックサーバーとは

CDを再生すると自動的にミュージックサーバーが録音を開始します。録音中はソースプレートに赤色で **REC** と表示されます。ミュージックサーバーには20枚程度のCDを録音できますので、お気に入りのCDを録音しておけばCDを交換する手間から解放され、長時間の連続再生をお楽しみいただけます。

ミュージックサーバーでは、以下のこともできます。

録音	CDなどの音源を録音することができます。
再生	録音された音声を、いろいろな方法で再生することができます。
編集	録音された音声に対して、曲名などの情報を登録したり、再生するグループ単位であるプレイリストの編集ができます。
検索	録音された音声を、いろいろな方法で検索することができます。
情報表示	録音された音声の登録情報や、録音日、再生時間などの詳細情報を表示させることができます。

- ① 別売のHDDナビゲーションサーバー用10GBハードディスク「ND-HD10」を増設した場合、約150枚程度のCDを録音することが可能となります。
 - 本機は、内蔵またはインターネットのデータベースを使って、CDから録音した曲にタイトルやアーティスト名などの情報を、自動的に付与します。
 - CDなどからデジタル録音したもの（CD-R、PCカードなど）から、さらにミュージックサーバーにデジタル録音（コピー）することはできません。これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム（SCMS）により定められています。
 - ➡ 各機能の操作方法などは『オーディオブック』、「ミュージックサーバーを利用する」を参照してください。
- ミュージックサーバーに録音できる枚数は、CDによって異なりますので、目安としてお考えください。

② 録音の途中でCDの再生をやめたらどうなるの？

曲の途中で再生が終了した場合、その曲はミュージックサーバーから消去されます。次回曲の頭から再生され録音し直します。

③ 同じCDを何回も再生したらどうなるの？

同じ曲は録音されません。ソースプレートの **REC** が青色になっているときは、録音していない曲があることを表しています。

④ CDを順不同に（ランダムに）再生したらどうなるの？

ミュージックサーバーは録音中の曲がCDの何曲目であるかという情報も取得します。（再生するときにはCDに記録されている同じ順番で再生します。）CDはお好みの順番でお聞きください。

⑤ CDのタイトルや曲名が画面に表示されるのはなぜ？

ミュージックサーバーはCDのデータベースを内蔵しています。演奏中のCDのデータが見つかった場合にはCDのタイトルや曲名などを画面に表示します。

② ミュージックサーバーはCD専用なの？

AVIC-V77MD、AVIC-V77、AVIC-V07MD、AVIC-V07と組み合わせてお使いの場合はテレビやラジオ、外部機器などの音声を録音することもできます。また、PCカード内のMP3ファイルを再生することもできます。

再生できるMP3ファイルについては、「MP3ファイルについて」(63P)を参照してください。

ミュージックサーバーへの録音

工場出荷時の録音に関する初期設定は、CDの自動録音モードに設定されています。CDを本機に挿入して再生を始めると、自動的にミュージックサーバーに録音が始まります。

➡ 録音方法は3種類用意されており、設定を変更することができます。

『オーディオブック』、「録音モードを設定する」

オート	CDを再生しながら、自動的にミュージックサーバーに録音します。
マニュアル	CDを再生しながら、手動でミュージックサーバーに録音します。
シングル	CDの1曲目だけを、自動的にミュージックサーバーに録音します。

録音した曲のタイトルを取得してみよう

内蔵のデータベースからタイトル情報を取得できたときは、ミュージックサーバーは自動的にその情報を取得しますが、情報が複数見つかった場合や情報が見つからなかった場合には [No Title] と表示します。

② 情報が見つからなかった場合は？

情報が見つからなかった場合は、『オーディオブック』「タイトル情報を取得する」を参照して操作してください。まず内蔵データベースを探し、情報が複数あるか確認します。それでも見つからない場合はインターネットから探します。

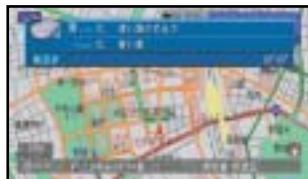
① 2001年11月以降に発売されたCDの情報は、内蔵のデータベースで見つからない可能性があります。

ミュージックサーバーの再生のしかた

- PCカード内のMP3ファイルを再生する場合は、あらかじめMP3ファイルが記録されているPCカードをPCカードスロットに入れておきます。「PCカードの入れかた、出しかた」(56P)を参照してください。
- PCカード内のMP3ファイルはミュージックサーバーのプレイリストの一番最後に表示されます(ID3 Tagから情報を取得できた場合は、その情報が表示されます。取得できなかった場合は、MP3のファイル名が表示されます)。
- 聞きたい曲を選ぶこともできます。
『オーディオブック』、「ミュージックサーバーを利用する」の「便利な機能」
- 再生できるMP3ファイルについては、「MP3ファイルについて」(63P)を参照してください。

1 SOURCEを押して、ソースを[M.S.V]に切り替える

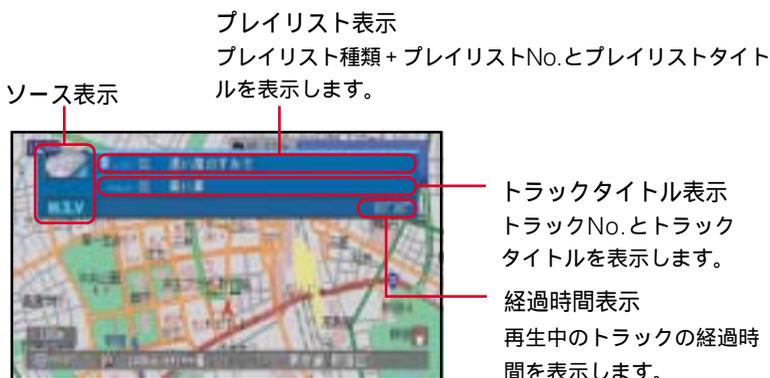
登録されている全プレイリストの再生が始まり、画面にはミュージックサーバーの状態が表示されます。プレイリストや曲を選びたい場合は、(▲▼) (◀▶)を押して選んでください。



2 再生を止めたい場合は、SOURCEを押す

他のソースに切り替えるか、[OFF]と表示されるまで2秒以上押し続けてください。end

ミュージックサーバー状態表示画面の見かた



- (NA)を押すと、ミュージックサーバー専用画面に切り替えることができます。専用画面ではリスト表示します。
- プレイリストタイトルとトラックタイトルは、全角16文字(半角32文字)まで表示されます。

音声操作を覚えよう

付属の音声認識コントローラーとマイクを使って、ナビゲーションを操作したり携帯電話をハンズフリーで操作することができます。

➡ 詳しくは、『ナビゲーションブック』、「音声操作」を参照してください。

音声操作の基本

音声操作上の注意点

音声操作を行うには、発話を正しく認識させる必要があります。

そのために、以下の点に注意してください。

- カーステレオの音量を下げる
- 車の窓は閉めておく
- マイクはドライバーの声を拾いやすい向きと距離に取り付ける
- はっきりと明瞭に発話する
- 音声認識語を正しく発話する
- 音声案内中は発話しない



発話するタイミング

発話するときは、“ピッ”と音が鳴って画面左下のキャラクターが首をかしげ、マイクを差し出してから発話してください。通常の姿勢（首をかしげていない状態）のときは、**操作**または**場所**を押すと、首をかしげて発話できる状態になります。

この状態のとき発話してください。



この状態のときは、発話しても認識されません。



発声の特徴を学習させる

音声認識の認識率を向上させるために、使用者の発声の特徴を学習させることができます。

画面の指示に従って単語を発音してください。これにより、発声の特徴を学習して認識率を向上させます。音声操作をご利用になる前に、発声の特徴を学習させることをおすすめします。

- ① 安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
- 通常の音声操作中でも継続的に音声認識の学習を行っていますので、一時的に使用者が異なる場合には [機能設定] の [音声認識学習使用] をOFFにしてください。
『ナビゲーションブック』、「機能設定」

1 **メニュー** を押して **編集・設定** を選んで **決定** を押す



2 **各種設定** を選んで **決定** を押す



3 **調整・補正** を選んで **決定** を押す



4 **音声認識話者学習** を選んで **決定** を押す



つづく >>

5 初期話者学習を選んで**決定**を押す

- **話者学習クリア** は前に学習した内容を消去します。
- **初期話者学習** は前に学習した内容を消去して、新たに学習します。



6 音声認識コントローラーの**操作**を押す
画面上に女性キャラクターが表示され、音声案内が流れます。



7 画面上に表示されている単語を発話する
“ピッ”と音が鳴ってキャラクターが首をかしげたら、発話を受け付け可能な状態になります。
発話すると画面上に違う単語が表示されますので引き続き発話してください。
画面上には残りの単語数が表示されます。



8 画面上に「終了しました。」と表示されたら**操作**を押す
今までに発話した単語から、発声の特徴を学習します。学習終了後は、地図画面に戻ります。 *end*



音声でナビゲーションを操作する

音声操作の基本的な流れは、リモコンを使ってメニューを操作するのと同じ要領です。場所の検索、基本操作、ルート操作、VICS操作、オーディオの操作などを行うことができます。

1 **操作** または **場所** を押す

音声で操作できる状態になります。

操作	ナビゲーション・オーディオ操作を行う場合
場所	場所を探す場合



i パーキングブレーキをかけているときは、発話できる音声認識語が表示されます。

2 音声認識語を発話する

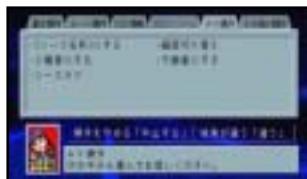
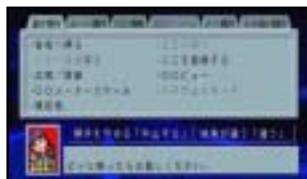
発話内容を認識すると、応答メッセージを表示します。

→ 本機が認識できる音声認識語については、『ナビゲーションブック』、「音声操作」を参照してください。

3 必要に応じて他の音声認識語を発話する

指定した操作が実行されます。

i **訂正** を押すと、前の画面に戻ります。 **end**



ハンズフリーで電話する

付属の音声認識コントローラーとマイクを使って、携帯電話をハンズフリーで操作できます。

電話をかける

1 **操作**を押す

音声で操作できる状態になります。

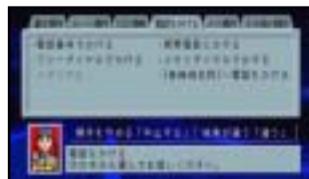
- i** パーキングブレーキをかけているときは、発話できる音声認識語が表示されます。



2 「電話をかける」と発話する

発話内容を認識すると、応答メッセージを表示します。

- i** 本機が認識できる音声認識語については、『ナビゲーションブック』、「電話を操作する」を参照してください。



3 必要に応じて他の音声認識語を発話する

- i** パーキングブレーキをかけているときは、画面に表示される音声認識語から選んで発話します。



4 **操作**または**場所**を押して電話をかける



5 通話が終了したら**操作**を押す 電話が切れます。

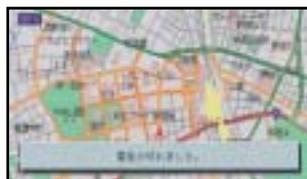
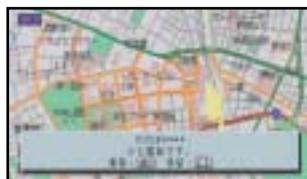
- i** **訂正**を押すと、前の画面に戻ります。 **end**

電話を受ける

- 1 電話がかかってきたら **操作** を押す
電話がつながり、通話状態になります。
音声操作用マイクを通して、ハンズフリー通話が行えます。

i ナビゲーションのメニュー操作中に電話がかかってきた場合、それまでの操作がキャンセルされ、電話を受けられる状態になります。

- 2 通話が終了したら **操作** を押す
電話が切れます。 **end**



電話を応答保留する

- 1 電話がかかってきたら **訂正** を押す
電話は、応答保留状態になります。



- 2 応答保留を解除したい場合は、応答保留中に **操作** を押す
電話がつながります。
応答保留中に **訂正** を押すと、電話が切れます。

i 応答保留中、通話相手には「間もなく電話に出ますので、そのままお待ちになるか、しばらくたってからもう一度おかけなおしてください。」といったメッセージが流れます。(メッセージは携帯電話事業者によって異なります。) **end**



PCカードの入れかた、出しかた

本機では、PCMCIAタイプIIのATAフラッシュカード「CNFC-16M」(別売)などを利用できます。

PCカードを利用すると、MP3ファイルを再生させたり、デジタルカメラで撮影した写真を地図上に表示させたり、登録地のデータなどを保存しておくことができます。

- ① ● 本機に使用するPCカードは、FATもしくはFAT32でフォーマットしてある必要があります。NTFSなどでフォーマットしてあるPCカードはご使用になれません。
- PCカードは、本機の電源のON/OFF(エンジンのON/OFF)に関係なく出し入れができます。
- PCカード内にたくさんのファイルを置くと起動が遅くなることがあります。

PCカードの入れかた

1 フロントドアを開ける

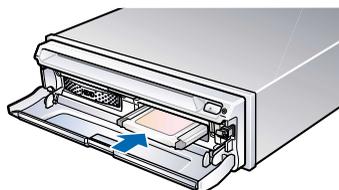
右上の「PUSH OPEN」と書いてある部分を押し、ドアが開きます。



2 PCカード挿入口にPCカードを差し込む

PCカードのタイトル面を上にして、カードに記載されている矢印の向きにPCカードを差し込みます。PCカード取り出しボタンが前に出て、カチッとロックされるまでしっかり差し込んでください。

PCカードが正しくセットされると、本機の電源がONになっている場合はPCカードPOWERランプが点灯し、PCカードが使えるようになります。end



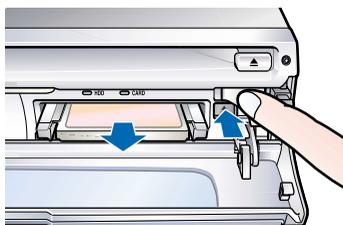
PCカードの出しかた

- 1 PCカードロックレバーを右にスライドさせて、指で押さえる

PCカードPOWERランプが消灯します。(本機の電源がOFFの場合は、ランプは消灯しています。)



- 2 ランプの消灯を確認した後、PCカード取り出しボタン(△)を押す
PCカードが出てきます。



- 3 PCカードを取り出してから、PCカードロックレバーから指を離す
取り出したPCカードは、ケースに入れて保管してください。

- PCカードPOWERランプの点灯中にPCカードを引き抜かないでください。ナビゲーション本体およびPCカードの破損の原因になります。
- PCMCIAタイプII(5V)以外のPCカードは使用できません。規格の異なるPCカードを差し込むと、PCカード挿入口が破損するなどの故障の原因となります。
- PCカードスロットに装着可能なメモリ媒体には保証できる温度が低いものが存在します。長時間の使用ではカードを破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 長時間PCカードを装着して使用すると、カードが非常に熱くなる可能性がありますのでご注意ください。
- 専用のドライバソフトウェアが必要なPCカードは使用できません。
- ハードディスク内蔵のPCカードはご使用にならないでください。故障の原因となります。 end

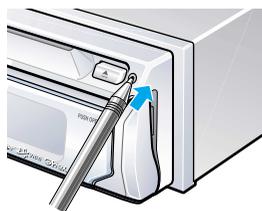
リセットのしかた

次のようなときは、本機とTVチューナー（AVIC-XH99/AVIC-XH77のみ）のリセットボタンを押してマイコンをリセットしてください。

- 接続が終わった後
- 正しく動作しないとき
- 画面が正しく表示されないとき

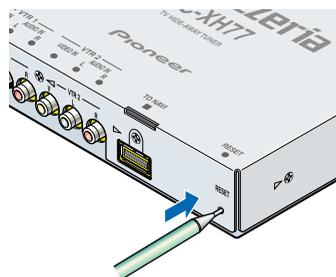
1 ポールペンの先などで、本機のリセットボタンを押す

i 本機のリセットボタンを押しても、登録地点やルート、センサーの学習内容、ミュージックサーバーなどの内容は消去されませんのでご安心ください。



2 ポールペンの先などで、TVチューナーのリセットボタンを押す（AVIC-XH99/AVIC-XH77のみ）

i TVチューナーのリセットボタンを押すと、映像や音声の設定（FMトランスミッターの設定や、記憶させたチャンネルなど）が消去されますので、もう一度セットし直してください。end



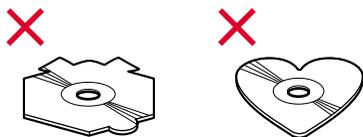
ディスクの正しい使いかた

取り扱い上のご注意

ひび、キズ、そりのあるディスクは使用しないでください。



特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



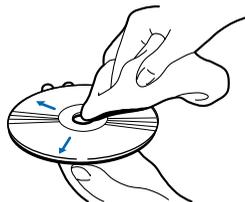
ディスクは、記録面(虹色に光っている面)をさわらないように持ってください。

ディスクにキズを付けしないでください。ディスクに紙やシールなどを貼り付けしないでください。



お手入れについて

ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布で、ディスクの内側から外側へ軽く拭いてください。



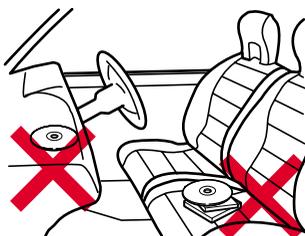
ディスクに、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。また、ディスクには、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。



i 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

保管上のご注意

ディスクは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



ディスクがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

ディスク再生の環境について

走行中、振動のショックでディスクのデータを正確に読み取れないことがあります。(画面の表示切り替えが遅くなってしまうことがあります。)

寒いとき、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、本機内部の光学系レンズやディスクにつゆが付いて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然につゆがとれるのをお待ちください。ディスクに付いたつゆは柔らかい布でふいてください。

高温になると、保護機能が働き、ナビゲーションの動作が停止します。

再生できるディスクの種類

下表のマークはディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。

本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ/再生面	最大再生時間
(AVIC-H99/ AVIC-XH99のみ) DVDビデオ  	DVDビデオ 12cm/片面	(MPEG 2方式) 1層 133分 2層 242分
	12cm/両面	1層 266分 2層 484分
	DVDビデオ 8cm/片面	(MPEG 2方式) 1層 41分 2層 75分
	8cm/両面	1層 82分 2層 150分
CD 	CD 12cm/片面	74分
	CDシングル 8cm/片面	20分

- i
 - DVDビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合があります。
 - また、一部のDVDビデオディスクにおいて、再生できない場合があります。
 - DVD-R/DVD-RWディスクは、ビデオフォーマット(ビデオモード)で記録されたものに限って、再生することができます。ビデオレコーディングフォーマット(VRモード)で記録されたDVD-RWディスクは再生できません。
 - CD-TEXTは、再生することはできますが、タイトルなどの文字情報は表示できません。
 - CD-Extraは、音楽CDとして再生することができます。
 - Super Audio CDは、ハイブリッドディスクのCD層のみ再生することができます。
 - パイオニア(株)製のCDレコーダーにより記録されたスキップ情報を認識し、再生時にその曲を飛ばして再生します(AVIC-H77)。
 - CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。
 - CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- !
 - DVDオーディオやDVD-R、DVD-ROMなどは再生できません。本機で再生できるのは、上記に記載されているマークの付いたディスクのみです。
 - DVDビデオディスクでも、リージョン番号が異なるディスクは再生できません。

- ビデオフォーマット(ビデオモード)で記録したDVD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機では再生できない場合があります。
- ファイナライズしていないCD-R/RW、DVD-R/RWディスクは再生できません。
- PC(パソコン)で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。(詳細についてはアプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。)
- 音楽用CDレコーダーで録音したもの以外のCD-R/RWディスクは、正常に再生できない場合があります。
- 音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R/RWディスクは再生できなくなる場合があります。
- CD-R/RWディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、本機では表示されない場合があります。(音楽データ(CD-DA)再生時)
- DDCD(Double Density CD)形式で録音されたCD-R/RWディスクは再生できません。

DVDに表示されているマークの意味

DVDディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表わしています。

マーク	意味
	音声の数を表わします。
	字幕の数を表わします。
	アングルの数を表わします。
	画面サイズ(アスペクト比:横と縦の比率)の種類を表わします。
	再生可能な地域番号(リージョン番号)を表わします。本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生することができます。

ディスクの操作について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式的操作が可能なディスクでは、タイトル/チャプターの構成上リピートなど一部の操作ができないことがあります。

このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。ディスクによっては、表示されないこともあります。

禁止マーク



MP3ファイルについて

MP3とは？

MPEG Audio Layer 3の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できるMP3ファイルについて

本機はMP3ファイルのCD-ROM(モード1のみ)、またはCD-R/RWディスク、PCカードを再生することができます。ディスクは、ISO9660のレベル1、レベル2に準拠して記録されたディスクが再生可能です。

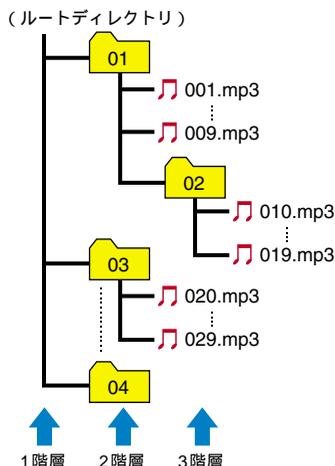
- ① MP3ファイルに名前をつけるときは、ファイル名のあとに拡張子(.mp3)を付けてください。
- ファイル名は、フォルダ名+ファイル名+.mp3が255byte以内(半角を1文字で1byte、全角を1文字で2byte)にしてください。
- 本機は、拡張子(.mp3)が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子(.mp3)を付けしないでください。

ID3 TagのVer1.0およびVer.1.1、Ver.2.Xのalbum(ディスクタイトルとして表示)、track(トラックタイトルとして表示)、artist(アーティストとして表示)の表示に対応しています。PCカード内のMP3ファイルでは、ジャンル、発売日の表示にも対応しています。44.1kHzのMP3ファイルを再生している場合のみエンファシスに対応しております。(なお、再生可能なサンプリング周波数は44.1kHzです。)

一般的にMP3ファイルは、ビットレートが高くなるほど音質は良くなります。本機は、8、16、24、32、40、48、56、64、80、96、112、128kbpsまでのMP3ファイルの再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、128kbpsのビットレートで記録されたディスクおよびPCカードの使用を推奨します。

フォルダとMP3ファイルについて

MP3ファイルを収録したCD-ROMのイメージは下図のようになります。



- ① MP3ファイルは上記イメージのように連番となります。
- Mixed Mode CDのデータトラックは、再生経過時間を表示しますが、音声は出力されません。音楽トラックのみ再生します。
- MP3ファイルを含まないフォルダは、認識しません。
- 8階層(ルートディレクトリ含む)までのMP3ファイルの再生に対応していますが、多くの階層を持つディスク、PCカードは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時およびPCカード保存時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。
- ディスクに含まれるフォルダの合計は256個まで、MP3ファイルは400個まで再生できます。PCカードはMP3ファイル99個まで再生できます。
- マルチセッション対応で記録したディスクは、最初のセッションのみ再生することができます。
- パケットライトには対応していません。
- m3uのプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive)、mp3 PROフォーマットには対応していません。
- VBR(可変ビットレート)のMP3ファイルには対応していません。
- PCカード内のMP3ファイルは、フォルダ分けしても表示されません。

故障かなと思ったら

ここでは、故障かな？と思ったらときに何を確認すればよいか、どう対処すればよいかを初歩的な内容のみ説明します。その他の内容およびエラーメッセージは『ナビゲーションブック』、「故障かなと思ったら」を参照してください。

共通項目

電源が入らない、動作しない

原因	処置
各リード線や各コネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。『取付説明書』
ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。『取付説明書』
ノイズなどが原因で内蔵のマイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。 「リセットのしかた」(58P)

リモコンで操作できない、操作に合った正しい動作しない

原因	処置
電池の(+)と(-)の向きを逆に入れている。	正しく入れてください。(22P)
リモコンを、足元やシートに向けて操作している。	リモコン受光部に向けて操作してください。(26P)
リモコン受光部に直射日光が当たっている。	リモコン受光部に近づけて操作してください。(26P)
電池が弱っている。	新しい電池に交換してください。(22P)
リモコンの操作モードが間違っている。	リモコンの操作モードを正しく切り替えてください。(23P)
リモコン設定スイッチが間違っている。	リモコン設定スイッチを正しく切り替えてください。(21P)

エンジンスイッチを ON または ACC にすると、モーター音がる

原因	処置
本機がディスクの有無を確認している。	正常な動作です。

音が出ない

原因	処置
接続が間違っている。	接続を確認してください。『取付説明書』

映像が出ない

原因	処置
パーキングブレーキコードが接続されていない。	パーキングブレーキコードを接続し、パーキングブレーキをかけてください。『取付説明書』
パーキングブレーキをかけていない。	

音が小さい

原因	処置
接続した機器の音量を下げている。	接続した機器の音量を上げてください。
アッテネータが ON になっている。	アッテネータを解除してください。

音や映像がとぶ

原因	処置
本機がしっかり固定されていない。	本機をしっかり固定してください。 『取付説明書』

ナビゲーション

自転車位置を測位できない、測位誤差が大きい

原因	処置
簡易ハイブリッドシステムになっている。	簡易ハイブリッドシステムは 3D ハイブリッドシステムに比べて測位精度が悪くなります。3D ハイブリッドシステムにするには、車速パルスを接続してください。
GPS 受信感度が低い。	GPS アンテナの感度を確認して、GPS アンテナの位置を変更してください。 車内に取り付けている場合は、必ず金属シートを使用してください。
車速パルスが正しく入力されていない。	接続状態画面で、接続を確認してください。 『取付説明書』
ナビゲーション本体がしっかり固定されていない。	接続状態画面で取付位置の項目を確認してください。 『取付説明書』

DVD (AVIC-H99、AVIC-XH99 のみ)

再生できない

原因	処置
ディスクが汚れている。	汚れを拭き取ってください。 「ディスクの正しい使いかた」(59P)
本機で再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。 「再生できるディスクの種類」(61P)
PAL方式のディスクを挿入している。	NTSC方式のディスクに交換してください。
本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。

CD

再生できない

原因	処置
ディスクが汚れている。	汚れを拭き取ってください。 「ディスクの正しい使いかた」(59P)
本機で再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。 「再生できるディスクの種類」(61P)

MP3 ディスク

MP3 ファイルを再生できない

原因	処置
MP3 ファイルに「.mp3」の拡張子が付いていない。	MP3 ファイルに拡張子「.mp3」を付けたディスクに交換してください。
ISO9660 のレベル 1、レベル 2 に準拠して記録されていない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2 に準拠して記録したディスクに交換してください。
CD-ROM のモードがモード 1 以外になっている。	CD-ROM モード 1 のディスクに交換してください。
128kbps を超えるビットレートで記録されている。	ビットレートが 128kbps 以下で記録された MP3 ファイルにしてください。

ミュージックサーバー

プレイリストが再生できない

原因	処置
プレイリストの再生が許可されていない。	再生許可に切り替えてください。 『オーディオブック』「再生しないプレイリストを設定する」
ポーズ(一時停止)が ON になっている。	ポーズを OFF にしてください。 『オーディオブック』「再生を一時停止する」

3Dハイブリッドセンサーのエラーメッセージ

初期学習が正しくできなかった場合は、画面に次のようなメッセージが表示されます。このようなメッセージが表示されたときは、以下の内容を参照してエラーの原因を取り除いてから、**決定**を押して初期学習をやり直してください。

[車速パルスが接続されていません。簡易ハイブリッドで動作します。[決定]を押してください。]

『取付説明書』を参照して、ピンクリード線(車速信号入力)を接続してください。接続すると、3Dハイブリッドセンサーの初期学習をやり直します。



[振動を検知しました。本体の取付け状態を変更後、[決定]を押してください。]

『取付説明書』を参照して、本機を取り付ける位置を変えてください。



[本体の向きが間違っています。取付けを確認後、[決定]を押してください。]

『取付説明書』を参照して、本機を取り付ける方向を変えてください。



[車速パルス信号が異常です。接続を確認後、[決定]を押してください。]

『取付説明書』を参照して、ピンクリード線(車速信号入力)の接続が間違っていないか確認してください。



[ジャイロセンサーが異常です。販売店、またはサービスステーションに御相談ください。]

内蔵のジャイロセンサーの故障が考えられます。販売店またはサービスステーションにご相談ください。



[ハードウェアに異常が発生し、測位不能になりました。販売店またはサービスステーションに御相談ください。]

ナビゲーション本体の故障、劣化等が考えられます。販売店またはサービスステーションにご相談ください。



[GPSアンテナが接続されていません。接続を確認してください。]

[GPSアンテナが異常です。販売店またはサービスステーションに御相談ください。]

『取付説明書』を参照して、GPSアンテナの接続が間違っていないか確認してください。正しく接続されている場合は、断線・故障・劣化等が考えられます。販売店またはサービスステーションにご相談ください。



[車速信号線が外れました。接続を確認してください。]

『取付説明書』を参照して、ピンクリード線(車速信号入力)の接続が間違っていないか確認してください。



お客様登録とアフターサービス

お客様登録 について

保証書発行兼お客様登録カードは、お買い上げ年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

この製品は、より確実にお客様をサポートさせていただくために「保証書発行兼お客様登録カード」のご返送もしくはインターネット登録による、お客様の登録と保証書の発行を実施させていただいております。お手数ではありますが必ずご登録手続きを行ってくださいますようお願いいたします。

登録方法

「保証書発行兼お客様登録カード」のご返送によるご登録

同梱の「保証書発行兼お客様登録カード」に住所、お名前、電話番号および裏面のアンケートに必要事項をご記入のうえ、「保証書発行兼お客様登録カード」を弊社までご返送ください。ご記入の住所、お名前に郵送いたしますので、正確にご記入ください。

インターネットによるご登録

弊社ご登録専用ホームページにアクセスし、住所、お名前、電話番号およびアンケートに必要事項をご記入のうえ送信してください。ご記入の住所、お名前に郵送いたしますので、正確に入力してください。

なお、インターネット登録のお客様は修理の際に、郵送される保証書と「保証書発行兼お客様カード」を一緒にご提示して頂きますので大切に保管願います。

ご登録専用ホームページ

<https://www3.pioneer.co.jp/members/navi/>

保証書発行 について

保証書のお届について

ご登録手続き完了後、保証書を郵送にてお届けいたします。

ご登録いただけない場合は、お客様の登録ができないため保証書の発行ができません。お手続きいただいてから保証書が届くまで約3週間ほどかかります。

保証書お届までに故障が発生した場合

保証書発行兼お客様登録カードお客様控は、お客様登録手続き中の証明となるものですので、保証書をお届けするまでの間、大切に保管してください。

インターネット登録の場合

インターネット登録のお客様は登録後、郵送された保証書と「保証書発行兼お客様登録カード」をあわせてご提示いただきますので大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、右ページの当社無料修理規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご質問・ご相談は

本機、または保証書発行兼お客様登録カードに関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

お願い

より確実にお客様をサポートさせていただくために、万一、保証書がお手元に届かない場合や、ご転居、住所の変更等、ご登録内容に変更が生じましたら、お手数ですがパイオニアカスタマーサポートセンターへご連絡くださるようお願いいたします。

カスタマーサポートセンター

 0070-800-8181-11

TEL 03-5496-8016（一般電話）

なお、登録の内容の変更はホームページからも行えますのであわせてご利用くださいますようお願いいたします。

ご登録専用ホームページ

<https://www3.pioneer.co.jp/members/navi/>

修理をご依頼になるときは、故障の原因をより早く確実に解決するため、製品一式をお持ち込みください。なお、サービス対応時におきましては、お客様が保存されたデータが消えることがあります。重要な内容は紙などに控えておいてください。

無料修理規定

1. 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
 2. 本取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはパイオニアサービスステーションが無料修理いたします。
 3. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には商品と保証書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店または別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」のパイオニアサービスステーションにご依頼ください。
 4. ご転居、ご贈答品等で保証書または保証書発行兼お客様登録カードに記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧のうえ、お近くのパイオニアサービスステーションへご相談ください。
 5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛かり等による故障および損傷。
 - 業務用の長時間使用、船舶への搭載等、通常以外のご使用をされた場合の故障および損傷。
 - 消耗品（各部ゴム、電池等）の交換
 - 未登録のお客様で保証書発行兼お客様登録カードのご提示がない場合。
 - 保証書の文字を書きかえられた場合。
 - 保証書発行兼お客様登録カードにお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。
 - 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合。
 6. 保証書およびこの無料修理規定は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
 7. 保証書および保証書発行兼お客様登録カードは再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
- * 保証書は、保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって保証書およびこの無料修理規定によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または別紙「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧のうえ、パイオニアカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
- * 保証期間中に保証書を紛失した場合でもご登録いただいておりますと、確認に多少お時間をいただく場合がございますが、当社無料修理規定に基づき修理いたします。

お客様の個人情報について

当社はお客さま個人の情報につきまして、安全対策を実施し厳重な管理を行っております。

仕様

ナビゲーション本体 (GPS部)

方式 : L1、C/A コード
GPS、SPS スタン
ダード・ポジショニン
グ・サービス
受信方式 : 8チャンネル マルチ
チャンネル受信方式
受信周波数 : 1,575.42 MHz
感度 : - 130 dBm
測位更新時間 : 約1回/1秒

ナビゲーション本体

映像出力レベル : 1 Vp-p、75 不平
衡、同期負
最大消費電流 : 1.5 A
使用電源 : DC 14.4 V (10.8 ~
15.1 V使用可能)
アース方式 : マイナスアース方式

DVDプレーヤーメカ部 (AVIC-H99/ AVIC-XH99)

形式 : DVD-VIDEO、
CDシステム
リージョンNo. : 2
使用ディスク : DVD-VIDEO、DVD-
R (video mode) /
RW (video
mode)、CD、CD-
R/RW
信号フォーマット :
サンプリング周波数 : 44.1/48/96 kHz
量子化ビット : 16/20/24 bit直線
映像出力レベル : 1 Vp-p/75
(白100%出力、
CD-RGB 26P
使用時)
音声出力レベル : 1 Vrms(1 kHz、
0 dB、CD-RGB
26P使用時)
周波数特性 (DVD値) : 5 ~ 44,000 Hz
(± 1 dB)

周波数特性 (CD値) : 20 ~ 20,000 Hz
(± 1 dB)
S/N : 97 dB (1 kHz)
(IHF-A network)
: 96 dB (1 kHz)
(IHF-A network)
CD時
ダイナミックレンジ : 96 dB (1 kHz)
: 95 dB (1 kHz)
CD時
高調波歪率 : 0.008% (1 kHz)
MPデコード : MPEG-1 Audio
Layer 3準拠
チャンネル数 : 2 (ステレオ)

CDプレーヤーメカ部 (AVIC-XH77)

形式 : コンパクトディスク
オーディオシステム
使用ディスク : コンパクトディスク、
CD、CD-R/RW
信号フォーマット :
サンプリング周波数 : 44.1 kHz
量子化ビット数 : 16ビット直線
周波数特性 : 20 ~ 20,000 Hz
(± 1 dB)
S/N : 96 dB (1 kHz)
(IHF-A network)
ダイナミックレンジ : 94 dB (1 kHz)
MPデコード : MPEG-1 Audio
Layer 3準拠
チャンネル数 : 2 (ステレオ)

TV (AVIC-XH99/AVIC-XH77)

使用電源 : DC 14.4 V (10.8 ~
15.1 V使用可能)
アース方式 : マイナスアース方式
最大消費電流 : 2.0 A

TVモニター (AVIC-XH99/ AVIC-XH77)

画面サイズ : 7インチワイド (有効
表示面積 : 87.1 ×
154.1mm)

画素数 : 336,960 画素
(234 × 1,440)

方式 : TFT アクティブマト
リクス方式、透過型

エッジライト : 冷陰極L字管

使用温度範囲 : - 10 ~ + 50

保存温度範囲 : - 20 ~ + 80

内蔵スピーカー : 36 mm

TVチューナー (AVIC-XH99/ AVIC-XH77)

受信チャンネル : VHF 1 ~ 12 ch、
UHF 13 ~ 62 ch

実用感度 : 6 dB μ (75 、モノ
ラル音声)

映像S/N : 40 dB以上 (59 dB μ
入力、白 100 %)

映像雑音制限感度 : 40 dB μ

クロストーク : 主 副 35 dB 以上、
副 主 40 dB 以上

S/N : 60 dB (IHF-A ネット
ワーク)

ステレオセパレーション : 30 dB (1 kHz)

外部映像入力レベル : 1 Vp-p/75

外部音声最大入力レベル : 1 V/22 k

映像出力インピーダンス : 1 Vp-p/75

外部音声最大出力レベル : 1 V/1 k

アンテナ入力 : 4 ch ダイバシティ

FMトランスミッター : 76.4 ~ 78.4 MHz

使用周波数 (0.1 MHz間隔で可変)

GPSアンテナ

アンテナ : マイクロストリップ平
面アンテナ/右円偏波

アンテナケーブル長 : 5.0 m

TVアンテナ (AVIC-XH99/ AVIC-XH77)

出力端子 : 3.5 ミニプラグ × 3
+ JASO × 1

アンテナケーブル長 : 7.0 m

外形寸法

ナビゲーション本体 :

178 (W) × 50 (H) × 161 (D) mm
(取付寸法)

170 (W) × 46 (H) × 24 (D) mm

(ノーズ寸法)

TVモニター (AVIC-XH99/AVIC-XH77) :

196 (W) × 121 (H) × 29 (D) mm

TVチューナー (AVIC-XH99/AVIC-XH77) :

179 (W) × 32 (H) × 150 (D) mm

GPSアンテナ :

34 (W) × 36 (H) × 13 (D) mm

TVアンテナ (AVIC-XH99/AVIC-XH77) :

30 (W) × 29 (H) × 192 (D) mm

(収納時、アンテナベース含まず)

リモコン : 37 (W) × 146 (H) × 30 (D) mm

音声認識コントローラー :

34 (W) × 56 (H) × 16 (D) mm

質量

ナビゲーション本体 :

1.6 kg

TVモニター (AVIC-XH99/AVIC-XH77) :

414 g

TVチューナー (AVIC-XH99/AVIC-XH77) :

928 g (コード含む)

GPSアンテナ :

105 g

TVアンテナ (AVIC-XH99/AVIC-XH77) :

236 g (コード含む、片側)

リモコン : 80 g (電池含む)

音声認識コントローラー :

20 g (電池含む)

付属品

リモコン： 1
 単4形アルカリ乾電池： 2 (LR03)
 コード類： 1式
 取付キット： 1式
 音声認識コントローラー： 1
 リチウム電池 (CR2032)： 1
 マイク： 1
 スタートブック： 1
 ナビゲーションブック： 1
 オーディオブック： 1
 クイックリファレンス： 1
 取付説明書： 1
 安全上のご注意： 1
 保証書発行兼お客様
 登録カード： 1
 ご相談窓口・修理窓口
 のご案内： 1
 VICSサービス契約約款： 1

『取付説明書』の「接続・取り付け部品を確認する」に接続・取り付け部品の一覧表が記載されています。

- i
 • 仕様および外観は予告なく変更することがあります。またこの説明書中のイラストと実物が、一部異なることがあります。
- 本機は日本国内専用です。GPSの測位範囲が異なる外国ではご使用いただけません。
- テレビの受信状態がよくないチャンネル（電波の弱いチャンネル）は、GPSの影響で、画面に斑点や色模様などのノイズが出ることがあります。

本機のリモコンによるパイオニア製20ピンRGB TVの操作

AVIC-H99は、組み合わせるパイオニア製20ピンRGB TVによって本機のリモコンで操作できない機能があります。

8.0型ワイド液晶TV

(: 操作できる x : 操作できない - : 機能無し)

機種	チャンネル操作	ビジュアルセレクト (V.SEL)	ピクチャー・サイド・ピクチャー	ピクチャー・イン・ピクチャー	ボリューム操作	スピーカーセレクト (SP.SEL)
TV-W8800	注1	(N/A)	-	-		
TV-W8000	注1	(N/A)	注2	注3		
TV-W818	x	(N/A)	x	注3		
TV-W808	x	(N/A)	注2			x

注1: TV操作モードに切り替えてください。

注2: ナビゲーション画面は、左右圧縮された画面になります。

注3: ナビゲーション画面を子画面にはできません。

AVX-P707W/AVX-P7000W/AVX-P7700W/AVX-P777

モード切り換え	チャンネル操作	ビジュアルセレクト (V.SEL)	ピクチャー・サイド・ピクチャー	ピクチャー・イン・ピクチャー	ボリューム操作	スピーカーセレクト (SP.SEL)
TV-MASTER	注1	(N/A)	-	-		
AUDIO-MASTER 注4		(N/A)	-	-		

注1: TV操作モードに切り替えてください。

注4: ナビゲーションのリモコンをオーディオ操作モードに切り替えた場合に操作できる機能です。(スピーカーセレクトはアッテネーターのON/OFF機能になります。)

ナビゲーション/テレビ操作モードではTV-MASTERと同じ機能となります。

AVX-P7000CD/AVX-P7CD/AVX-P7DV 注5

モード切り換え	チャンネル操作	ビジュアルセレクト (V.SEL)	ピクチャー・サイド・ピクチャー	ピクチャー・イン・ピクチャー	ボリューム操作	スピーカーセレクト (SP.SEL)
FM MODULATOR モード	注1	(N/A)	-	-	x	-
IP-BUS MAIN UNIT モード 注6		(N/A)	-	-		
IP-BUS AV-MASTER モード 注7		(N/A)	-	-		

注1: TV操作モードに切り替えてください。

注5: AVX-P7DVにはFM MODULATORモードはありません。

注6: ナビゲーションのリモコンをオーディオ操作モードに切り替えた場合に操作できる機能です。(スピーカーセレクトはアッテネーターのON/OFF機能になります。)

ナビゲーション/テレビ操作モードではFM MODULATORモードと同じ機能となります。

注7: ナビゲーションのリモコンの本体にあるスイッチ3をONに設定します。

ナビゲーションのリモコンをオーディオ操作モードに切り替えた場合に操作できる機能です。(スピーカーセレクトはアッテネーターのON/OFF機能になります。)

ナビゲーション/テレビ操作モードではFM-MODULATORモードと同じ機能となります。



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

お客様ご相談窓口（全国共通フリーフォン）

カスタマーサポートセンター

カーオーディオ/カーナビゲーション商品のお問い合わせ窓口

 **0070-800-8181-11**

カタログのご請求窓口

 **0070-800-8181-33**

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内

<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2002

< KKNEF/02E00000 > < CRA3369-A >